取扱説明書

液晶プロジェクター

形名 CP-X809J

【MIU 編】

このMIU編では、本製品のMIU(Multi Information processing Unit)の機能について説明します。

⚠ 警告	ご使用の前に、必ず本機に同梱の取扱説明書、および【MIU 編】を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

MIU 編

もくじ

はじめに

使用上のご注意 ＜必ずお読みください＞

ネットワークへの接続に関するご注意

お守りください

●ネットワークによっては過度の電圧をもつものがあります。過度の電圧を生じる可能性があるネットワークは、安全のため、LAN 端子に接続しないでください。

●本機をネットワークに接続するには、あらかじめご使用になるネットワーク環境に合わせた設定が必要です。本機をネットワークに接続する前に、必ずご使用になるネットワークの管理者へご相談ください。誤った接続や設定はネットワーク障害などの原因となることがあります。

ワイヤレスネットワークカードと記録メディアの抜き差しに関する制限事項

⚠ 注意

●本機の動作中はワイヤレスネットワークカードに触れない
ワイヤレスネットワークカードの抜き差しは、かならず本機の電源スイッチを切ってから行ってください。

●アクセス中の記録メディアには触れない
SD メモリカード、USB メモリなどの記録メディアは、アクセス中に抜き取らないでください。メディア上の LED が点灯 / 点滅していないことも確認してください。

お守りください

● SD メモリカードや USB メモリを抜き取る前に、本機の電源を切るか、または本機の「MIU」メニュー（📖**2-34**）の「PC レス プレゼンテーション」(📖**2-36**）－「メディア取り外し」から目的のメディアに合ったメディアの取り外しを実行してください。

その他のご注意

オプション品の IEEE802.11g ワイヤレスネットワークカードは、2.4GHz 帯域の電波を使用します。特に無線局の免許は必要ありませんが、下記の内容をご理解のうえ、ご使用ください。

●下記の機器、施設の近くでは、使用しないでください。
・電子レンジ
・産業・科学・医療機器
・特定小電力無線局
・構内無線局
電波の干渉により、通信速度が遅くなったり、通信できなくなる可能性があります。

●お使いになる場所によっては、電波の状態が悪くなり、通信速度が遅くなったり、通信できなくなることがあります。特に、鉄筋、金属、コンクリートなどは、電波を通さないため、ご利用の際は、ご注意ください。

●ワイヤレスネットワークカードが国内で使用できる 2.4GHz 帯域のチャンネル（実際の周波数範囲を複数に分けたもの）は、1 ～ 11 です。

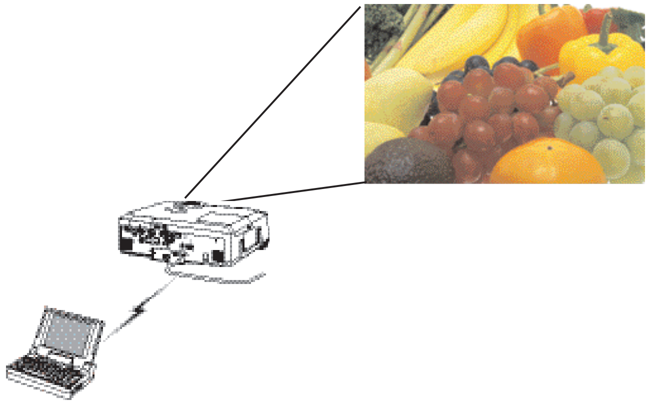
●ワイヤレスネットワークカードは、日本国内でのみ、ご使用になれます。国外に持ち出すと、その国の電波法に抵触する恐れがあります。

1. 主な機能

本機の MIU（Multi Information processing Unit）は、ワイヤレス、あるいは PC レスでの快適なご利用環境を提供いたします。
LAN ケーブル、あるいはオプションのワイヤレスネットワークカードでネットワークに有線／無線で接続すると、ネットワーク経由で、本機の遠隔操作や監視を行ったり、PC の画像を本機に送信、表示させせることができます。また､SD メモリカード､USB メモリなどの記録メディアを本機に接続すると、メディアに記憶された画像を再生することができます。

1.1 ライブモード

本機をネットワークに接続し、ライブモードを使用すると、映像信号のケーブルが不要な、“ワイヤレスプレゼンテーション”が可能です。
ライブモードでは、専用アプリケーション（らくらく接続 MIU ツール“Live Viewer 3”）が PC の画面をキャプチャし、ネットワーク（有線 LAN または無線 LAN 接続）を介して本機に送信、表示します。また、1 台のプロジェクターで、最大 4 台までの PC の画面を表示することができます。
詳細は、「3. ライブモード」（📖**3-14**）をご参照ください。



ライブモードによる“ワイヤレスプレゼンテーション”
（イメージ図：無線 LAN 接続時）



“Live Viewer 3”メインメニュー

1.2 らくらくネットワーク接続

らくらく接続 MIU ツール“Live Viewer 3”（📖3-14）では、本機を簡単にネットワークに接続するための便利なオプションをいくつかご用意しています。ご使用のネットワーク環境に合わせてぜひご利用ください。
詳細は、「3.3 らくらくネットワーク接続」（📖3-19）をご参照ください。

■パスコード入力

パスコードは、プロジェクターの SSID、IP アドレスなど、ネットワーク接続に必要な情報を含む 12 桁の記号です。本機の画面に表示されたパスコードを“Live Viewer 3”の画面に入力すると、本機をネットワークに接続することができます。



パスコードの表示画面

■プロファイル登録・選択

よく使うプロジェクターのネットワーク設定データを、プロファイルデータとして“Live Viewer 3”に登録することができます。データ登録後は、リストからプロファイルを選択すると、プロジェクターをネットワークに接続することができます。

■履歴選択

一度“Live Viewer 3”を使用してネットワークに接続したプロジェクターは、設定データが接続履歴として記録されます。リストから履歴を選択するだけで、ネットワークに接続することができます。

■マイコネクション接続

登録したプロファイルデータや、一度接続したプロジェクターを、さらにマイコネクションとして登録することができます。よく使うプロジェクターをマイコネクションに登録しておくと、マイコネクションを選択するだけでネットワークに接続することができます。

■リスト選択

すでに同じネットワーク上にある（ネットワークアドレスアドレスが同じ）プロジェクターと PC を接続する場合には、“Live Viewer 3”の画面に表示されるリストから目的のプロジェクターを選択するだけで、接続することができます。

1.3 WEB コントロール 遠隔操作

本機をネットワーク接続すると、同じネットワーク上にある PC から、ネットワーク経由で本機の設定、操作、監視などをすることができます。詳細は、「4. WEB コントロール 遠隔操作」（📖**3-42**）をご参照ください。

■ WEB コントロール

同じネットワークに接続した PC から、Web ブラウザを使ってネットワークの設定、プロジェクターの監視、WEB リモコンによる操作などを行うことができます。WEB リモコンでは、ライブモード、PC レス プレゼンテーションを操作することもできます。また、下記の自動通知機能、電子メール機能。SNMP トラップ、スケジュール機能の操作、設定も WEB コントロールで行います。

■電子メール、または SNMP による自動通知

本機がエラーを検出したときやメンテナンスを必要とするとき、電子メール機能、または SNMP を使用して警告メッセージを自動的に送信、受け取ることができます。

■スケジュール設定

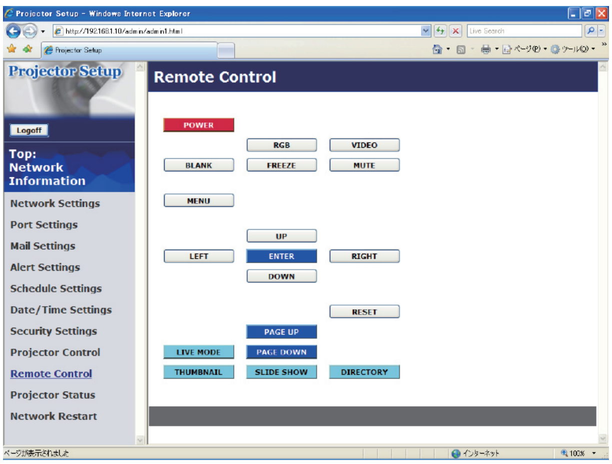
起動や画像の表示など、本機の操作を、日時を指定して自動的に実行させることができます。

■マイ イメージ

静止画像（マイ イメージ）をネットワーク経由で本機に転送し、記録メディアに保存、また、本機の画面に表示させることができます。

■ RS-232C 通信

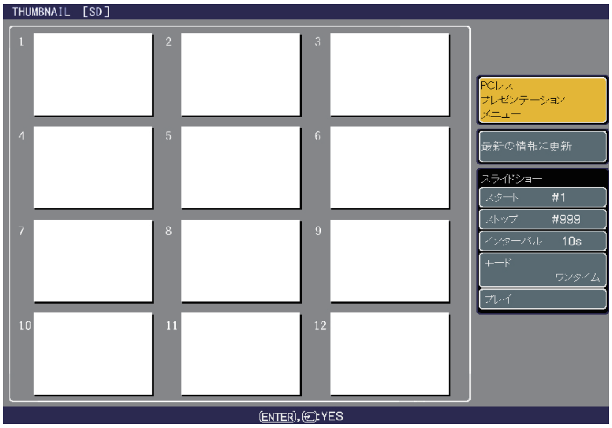
ネットワーク経由で RS-232C 通信コマンドを送信し、本機の操作、設定ができます。



WEB リモコン

1.4 PC レス プレゼンテーション

SD メモリカード、USB メモリなどの記録メディアを本機に接続すると、メディアに保存されている画像を、PC を使わず本機の画面に直接表示する、PC レス プレゼンテーションが可能です。
PC レス プレゼンテーションには、メディアに保存された画像ファイルを並べて縮小表示するサムネイルモード、一つの画像を画面にいっぱいに表示する全画面モード、画像を一定間隔で“スライド”のように表示するスライドショーモード、メディアに保存されているディレクトリ、ファイルをツリー表示するディレクトリモードの 4 つの表示モードがあります。
詳細は、「5. PC レス プレゼンテーション」（📖**3-68**）をご参照ください。



PC レス プレゼンテーション（サムネイル画面）

2. 機器の接続とネットワーク設定

2.1 必要な機器について

本機の MIU を使用するには、ネットワークの接続方法、および使用する機能によって必要な機器が異なります。以下の説明に従って必要な機器をご用意ください。ただし、必要数としてあげたものは、本機 1 台に付き必要な数です。

【共通】

■液晶プロジェクター (本機) ： 1 台

■ PC ： 1 台

「3.2“Live Viewer 3”のインストール」（📖**3-16**）にしたがって、らくらく接続 MIU ツール“Live Viewer 3”（📖**3-14**）をインストールしておくことをお勧めします。

【有線 LAN 接続用】

■ CAT-5 以上の LAN ケーブル ： 1 本

【無線 LAN 接続用】

■本機用ワイヤレスネットワークカード (オプション : 型名 WL SD CARD) ： 1 枚

■ PC 用 IEEE802.11b/g 対応の無線 LAN アダプタ ： 1 台

（PC に IEEE802.11b/g 対応の無線 LAN モジュールが内蔵されている場合は不要です。）

【PC レス プレゼンテーション用】

■ SD メモリカード または USB メモリ ： 1 個

お知らせ

● PC に無線 LAN 機能が搭載されていても、本機と、一部の無線 LAN モジュールや PC との間で正常に通信できない場合があります。通信問題の発生を防ぐために、Wi-Fi 認定の無線 LAN モジュール / アダプタをご使用ください。

●無線 LAN 接続をインフラストラクチャモードで使用するには、無線 LAN アクセスポイントが必要です。

●本機 1 台に複数の PC を有線 LAN で接続する場合は、イーサネットハブと、接続する PC の台数 +1 本 (本機の分) の LAN ケーブルが必要です。

●本機のネットワーク機能を使用するには、10Base-T または 100Base-TX のネットワーク環境をご用意ください。

2.2 ネットワーク接続について

らくらく接続 MIU ツール “Live Viewer 3” をご使用になると、面倒な設定がいらず、簡単にネットワークに接続することができます。“Live Viewer 3” を使用したネットワークの接続方法については、「「3.3 らくらくネットワーク接続」（📖**3-19**）をご覧ください。

“Live Viewer 3” をご使用にならない、また何らかの理由でご使用いただけない場合は、次項以降「2.3 ネットワークの手動設定－有線 LAN」（📖**3-8**)、もしくは「2.4 ネットワークの手動設定－無線 LAN」（📖**3-11**）にしたがって、ネットワークの接続と設定を手動で行ってください。

MIU 編

2.3 ネットワークの手動設定－有線 LAN

“Live Viewer 3” をご使用にならない場合は、ネットワーク接続を手動で設定する必要があります。この項では、有線 LAN 接続を手動で設定する方法について説明します。

有線 LAN の接続手順

1．本機の LAN 端子と PC を LAN ケーブルで接続してください（📖**1-17**）。
2．次項の「ネットワーク設定方法」、および「インターネット オプションの設定」にしたがって、PC のネットワーク設定を行ってください。
3．最後に、本機の電源を入れ、「接続の確認」にしたがって、ネットワークの接続確認をしてください。

お知らせ

●既存のネットワークに接続する際は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。

ネットワーク設定方法

Windows XP と Internet Explorer を使用する場合のネットワーク接続の設定方法について説明します。

1) 管理者権限で Windows XP にログオンします。
管理者権限とは、PC の、すべての機能にアクセスできるユーザー権限のことをいいます。

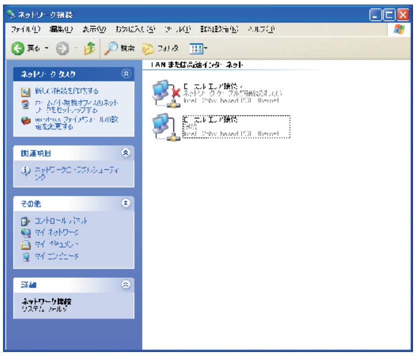
2) [スタート] メニューの [設定] から “コントロールパネル” を開きます。

3) “コントロールパネル” の作業分野、“ネットワークとインターネット接続” を選択し、“ネットワーク接続” のウィンドウを開いてください。クラシック表示を選択している場合は、“コントロールパネル” から “ネットワーク接続” のウィンドウを開いてください。



ネットワークとインターネット接続

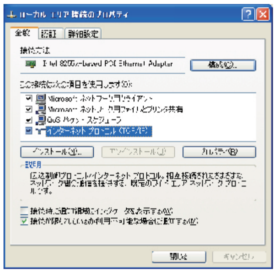
4) 使用可能なネットワークモジュールが複数存在するときには、使用したいもののみを有効にし、残りのモジュールは無効にしてください。
（ここでは、“ローカルエリア接続” を選択した場合を説明します。）



ネットワーク接続

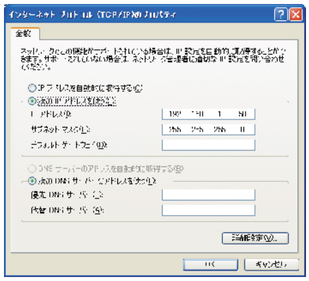
2.3 ネットワークの手動設定－有線 LAN(つづき)

5) “ローカルエリア接続” のプロパティを開きます。
6) “全般” タブで、“インターネットプロトコル (TCP/IP)” を使用プロトコルとして選択 (チェックボックスをオン) し、プロパティを開きます)。



ローカルエリア接続のプロパティ

7) “次の IP アドレスを使う”を選択(ラジオボタンをオン)し、PC の “IP アドレス”、“サブネットマスク”、“デフォルト ゲートウェイ” を設定してください。ネットワーク内に DHCP サーバーがある場合は、“IP アドレスを自動的に取得する” を選択し、IP アドレスを自動的に割り当てることができます。
   ※ DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) サーバーは、機器に対して、IP アドレスなどの必要なネットワーク設定を行います。
   設定し終わったら、[OK] をクリックし、ウィンドウを閉じてください。



インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ

PC に設定する IP アドレスのネットワークアドレス部分、およびサブネットマスクは、本機と同じとなるようにしてください。ただし、PC の IP アドレス全体が、本機を含む他のネットワーク機器と同じになるようには設定しないでください。
たとえば、本機の初期設定は次のようになっています。

IP アドレス : 192.168.1.10　　サブネットマスク : 255.255.255.0

このときのネットワークアドレスは、IP アドレスの下線部分、“192.168.1” です。
PC の IP アドレスのネットワークアドレス部分とサブネットマスクは、本機と同じになるよう、次のように指定します。

IP アドレス : 192.168.1.xxx　　サブネットマスク : 255.255.255.0

IP アドレスの “xxx” 部分には、本機を含め、他のネットワーク機器と重複しない 1 ～ 254 の数値 (10 進数) を指定します。この場合、本機の IP アドレスが “192.168.1.10” であるため、“xxx” 部分に 10 は指定できません。

お知らせ

● IP アドレスに “0.0.0.0” は設定できません。
●本機の IP アドレスは、「MIU」メニュー（📖**2-34**）の「インフォメーション」（📖**2-42**）から確認できます。また、「MIU」メニューの「セットアップ」(📖**2-37**) - 「IP ADDRESS」、あるいは WEB コントロールを使用して変更することができます（📖**3-46, 47**）。
●本機と PC が同じネットワーク上にある場合 (ネットワークアドレスが同じ場合)、デフォルト ゲートウェイは空欄とすることができます。本機と PC が異なるネットワーク上にある場合は、デフォルト ゲートウェイを設定する必要があります。詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

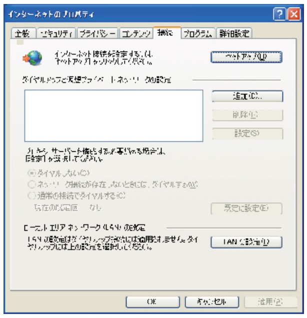
インターネットオプションの設定

1) “ネットワークとインターネット接続” の作業分野、“インターネット オプション” を選択し、“インターネットのプロパティ”ウィンドウを開きます。クラシック表示を選択している場合は、“コントロールパネル” から“インターネット オプション”を選択し、“インターネットのプロパティ” ウィンドウを開いてください。

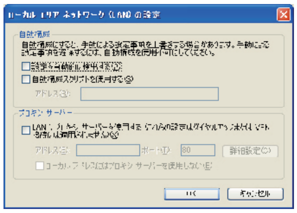


ネットワークとインターネット接続

2) “接続” タブで、[LAN の設定] をクリックし、“ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定” ウィンドウを開きます)。


インターネットのプロパティ

3) “ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定” ウィンドウで、すべてのボックスのチェックを外します。設定し終わったら、[OK] をクリックし、ウィンドウを閉じてください。


ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定

接続の確認

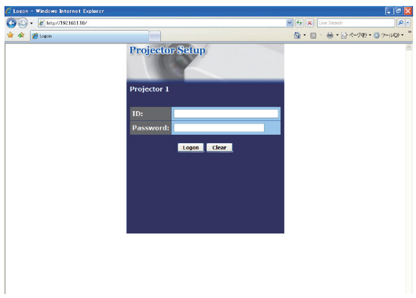
1) Web ブラウザを起動して以下の URL を入力し、[→] ボタンをクリックしてください。

URL　http://(本機の IP アドレス)/

たとえば、本機の IP アドレスが 192.168.1.10 であれば、URL は次のようになります。

URL　http://192.168.1.10/

2) 右のログオンウィンドウが表示されたなら、正常に接続されています。接続できない場合は、機器の接続と設定が正しく行われていることを確認してください。



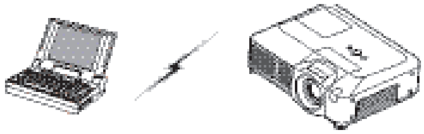
ログオンウィンドウ

お知らせ

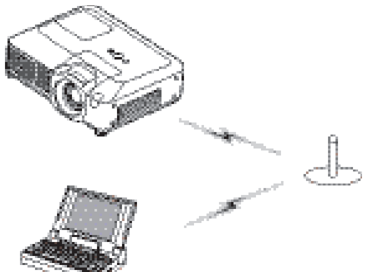
●本機の IP アドレスは、「MIU」メニュー（📖**2-34**）の「インフォメーション」（📖**2-42**）から確認できます。

2.4 ネットワークの手動設定－無線 LAN

この項では無線 LAN を手動で設定してネットワークに接続する方法を説明します。
オプションのワイヤレスネットワークカードを使用すると、本機と PC 間を無線 LAN で接続することができます。AD-HOC モードと INFRASTRUCTURE モードの両方が使用可能です。
AD-HOC モードは、通信用のアクセスポイントを必要としない無線 LAN の接続制御方式です。
INFRASTRUCTURE モードは、通信用のアクセスポイントを必要とする無線 LAN の接続制御方式で、このモードのほうが多数の機器を接続する場合に便利です。



アクセスポイントを使用しない通信（AD-HOC）



アクセスポイントを使用した通信（INFRASTRUCTURE）

無線 LAN の接続手順

1. オプションのワイヤレスネットワークカードを本機の SD カードスロットに挿入してください（📖**1-19**）。
2. PC に無線 LAN モジュールが内蔵されていない場合は、IEEE802.11b/g 無線 LAN アダプタを PC に接続し、デバイスドライバをインストールしてください。（詳細については、無線 LAN アダプタの取扱説明書を参照してください。）
3. 次項の「無線 LAN の接続設定」、および「2.3 ネットワークの手動設定－有線 LAN」－「インターネットオプションの設定」（📖**3-10**）にしたがって、PC のネットワーク設定を行ってください。
4. 最後に、本機の電源を入れ（📖**1-25**）、「2.3 ネットワークの手動設定－有線 LAN」－「接続の確認」（📖**3-10**）にしたがって、ネットワークの接続確認をしてください。

お知らせ

●既存のネットワークに接続する際は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。

無線 LAN の接続設定

Windows XP を使用する場合の、無線 LAN 接続の設定方法について説明します。ここでは、本機が初期設定である場合を説明します。アクセスポイントやデータ暗号化を使用する場合は、設定方法が違います。詳細は、PC と無線 LAN モジュール／アダプタの取扱説明書を参照してください。
本機の無線 LAN 初期設定は次のようになっています。

接続制御　　：AD-HOC
SSID　　　　：wireless
チャンネル　：1ch
データの暗号化：無効
通信速度　　：オート
IP アドレス　：192.168.1.10

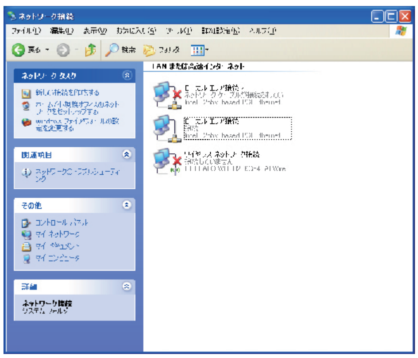
> **お知らせ**
> ●上記の設定は、「MIU」メニュー（📖**2-34**）の「インフォメーション」（📖**2-42**）から確認できます。また、「MIU」メニューの「セットアップ」（📖**2-37**）、あるいは WEB コントロールを使用して変更することができます（📖**3-46, 47**）

1) 管理者権限で Windows XP にログオンします。
　管理者権限とは、PC のすべての機能にアクセスできる権限のことをいいます。
2) [スタート] メニューの [設定] から “コントロールパネル” を開きます。
3) “コントロールパネル” の作業分野、“ネットワークとインターネット接続” を選択し、“ネットワーク接続” のウィンドウを開いてください)。クラシック表示を選択している場合は、“コントロールパネル” から “ネットワーク接続” のウィンドウを開いてください。



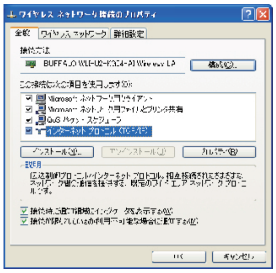
ネットワークとインターネット接続

4) 使用可能なネットワークモジュールが複数存在するときには、“ワイヤレスネットワーク接続”、あるいは他の使用したい無線 LAN モジュールを有効に設定し、他のネットワークデバイスはすべて無効に設定します。


ネットワーク接続

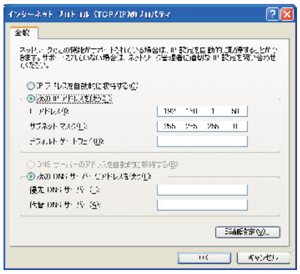
5) “ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ” ウィンドウを開きます)。

6) “全般” タブで、“インターネットプロトコル (TCP/IP)” を使用プロトコルとして選択 (チェックボックスをオン) し、プロパティを開きます。



ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ (1)

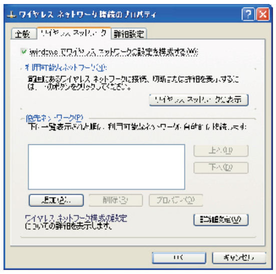
7) “次の IP アドレスを使う” を選択(ラジオボタンをオン)し、PC の “IP アドレス”、“サブネットマスク”、“デフォルト ゲートウェイ” を設定してください。設定については、「2.3 ネットワークの手動設定－有線 LAN」－「ネットワーク設定方法」(📖3-8) をご確認ください。設定し終わったら、[OK] をクリックし、ウィンドウを閉じてください。



インターネットプロトコル (TCP/IP)
のプロパティ

8) “ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ” ウィンドウの “ワイヤレスネットワーク” タブで、をクリックします。“Windows でワイヤレスネットワークの設定を構成する” のチェックボックスをオンにします。

9) “優先ネットワーク” の下にある [追加] ボタンをクリックし、“ワイヤレスネットワークのプロパティ” ウィンドウを開きます。

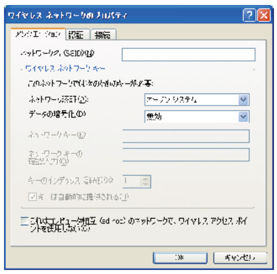


ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ (2)

10) “アソシエーション” タブで、以下の各項目を設定します。

ネットワーク名 (SSID): wireless
データの暗号化 : 無効

設定し終わったら、[OK] をクリックし、“ワイヤレスネットワークのプロパティ” ウィンドウを閉じてください。また、“ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ” でも [OK] をクリックし、ウィンドウを閉じてください。



ワイヤレスネットワークのプロパティ

3. ライブモード

本章では、ライブモードによる快適なワイヤレスプレゼンテーションをご利用いただくための準備と手順、らくらく接続 MIU ツール“Live Viewer 3”の便利な機能とご使用方法などを説明します。
"Live Viewer 3" は､日立のホームページからダウンロードしてご使用ください。ホームページの｢サービス＆サポート」欄から、画面表示に従って、簡単にダウンロードしていただけます。

日立ホームページ URL　http://www.hitachi.co.jp/proj/

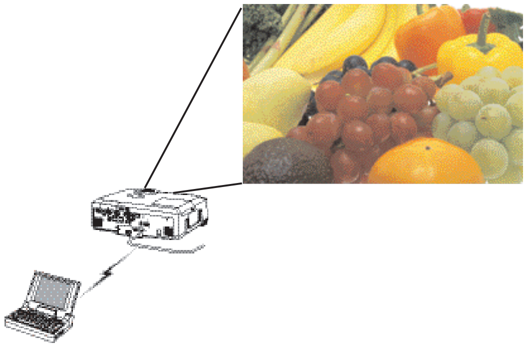
3.1 ライブモードについて

ライブモードのご利用手順概要

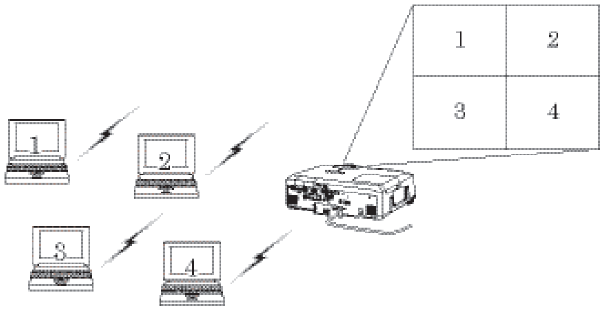
1. “Live Viewer 3”を日立のホームページからダウンロードし、PC にインストールします。
   インストール方法は、次項の「3.2“Live Viewer 3”のインストール」（📖**3-16**）をご参照ください。
2. 有線 LAN を使用する場合は本機と PC を LAN ケーブルで接続してください。無線 LAN を使用する場合は本機にワイヤレスネットワークカードを挿入し、必要に応じて PC に無線 LAN アダプタを接続してください。
   必要な機器については、「2.1 必要な機器について（📖**3-7**）をご参照ください。
3. 本機の電源スイッチを入れてください。管理者権限で PC にログオンし、“Live Viewer 3”のらくらくネットワーク接続機能を使用して、ネットワークに接続してください。
   この機能を使用してネットワークに接続するには、「3.3 らくらくネットワーク接続」（📖**3-19**）をご参照ください。
4. 本機と PC が正しく接続されていることを確認してください。
   同じネットワーク上に複数のプロジェクターが接続されている場合がありますので、ライブモードで映像を送信する前に、「3.6 接続確認」（📖**3-33**）にしたがって、目的のプロジェクター (本機) が選択されているか確認してください。
5. 本機と PC が正しく接続・選択されると、PC の画面に“Live Viewer 3”のメインメニューが表示されます。
   “Live Viewer 3”の操作方法は､｢3.8“Live Viewer 3”の操作｣（📖**3-38**）をご参照ください。
6. 本機をライブモードに設定してください。
   ライブモードの設定方法は、「3.6 接続確認」－「ライブモードに設定する」（📖**3-35**）をご参照ください。

ライブモードの便利な機能 ＜表示モード（マルチ PC モード）＞

ライブモードには、シングル PC モードとマルチ PC モードの２つの表示モードがあります。
シングル PC モードは、１台の PC 画面を本機の投写画面全体に表示します。
マルチ PC モードは、分割されたプロジェクターの投写画面に、最大４台までの PC の画面を同時に表示します。
表示モードは、“Live Viewer 3” のメインメニュー（**3-38**）から、もしくは本機の「MIU」メニュー（**2-34**）－「ライブモード設定」－「マルチ PC モード」（**2-35**）で変更できます。



シングル PC モード



マルチ PC モード

ライブモードの便利な機能 ＜プレゼンターモード＞

シングル PC モードでプレゼンテーションをしている間、本機の投写画面を１台の PC で占有し、他の PC からの割り込みを防止することができます。この機能を使用すると、プレゼンテーション中に誤って別の PC 画面が表示され、プレゼンテーションを邪魔されることがなくなります。
プレゼンターモードは、“Live Viewer 3” のオプションメニュー（**3-41**）から設定することができます。また、本機の「MIU」メニュー－「ライブモード設定」－「プレゼンターモード解除」で、もしくは Web ブラウザからプレゼンターモードを解除することもできます。

ライブモードの便利な機能 ＜ユーザー名表示＞

ユーザー名を “Live Viewer 3” に登録しておけば、本機の投射画面にユーザー名を表示させて、どの PC の画面が表示されているかを区別することができます。
ユーザー名は、“Live Viewer 3” のオプションメニューから登録、表示設定することができます。また、本機の「MIU」メニュー－「ライブモード設定」－「ユーザー名表示」（**2-35**）でユーザー名の表示／非表示を設定することもできます。

3.2 “Live Viewer 3” のインストール

ここでは、らくらく接続 MIU ツール“Live Viewer 3”のインストール方法について説明します。

PC に必要なハードウェアとソフトウェアの最小条件

■ OS	：Windows 2000 Professional Service Pack 4 Windows XP Home Edition Windows XP Professional Windows Vista Home Basic (32bit) Windows Vista Home Premium (32bit) Windows Vista Business (32bit) Windows Vista Enterprise (32bit) Windows Vista Ultimate (32bit)
■グラフィックインタフェース	：Video RAM 4MB 以上（推奨 8MB）
■ CPU	：Pentium III（推奨 600MHz 以上）
■ディスプレイ	：VGA 640x480 以上（推奨 XGA 1024x768)、 65,536 色表示以上
■メモリ	：64MB 以上（Windows XP 使用の場合、128MB 以上を推奨）
■ハードディスク空き容量	：20MB 以上
■ Web ブラウザ	：Internet Explorer（5.5 あるいはそれ以降のバージョン）
■ LAN インタフェース	：無線 LAN の場合　IEEE802.11b/g 有線 LAN の場合　10Base-T、100Basa-TX

お知らせ

●らくらく接続 MIU ツール "Live Viewer 3" は、日立のホームページから最新バージョンをダウンロードしてご使用ください。(📖3-14)

● Windows Vista をご使用の場合は、“Live Viewer 3”のいくつかの機能が制限されます。詳細は、ソフトウェアと一緒にダウンロードされる、インストールマニュアルをご参照ください。

● PC 画面の解像度は XGA 以下に設定してください。

● PC 画面の設定によっては、本機の画面に正しく表示されないことがあります。たとえば、PC 画面の解像度が XGA(1024x768) より高く設定されていると、画面の 1024x768 部分のみが表示されます。

● OS のバージョンやネットワークアダプタドライバによっては、画像を適切に送信できないことがあります。OS とドライバは最新バージョンをご使用ください。

● PC に無線 LAN 機能が搭載されていても、本機と、一部の無線 LAN モジュールや PC との間で正常に通信できない場合があります。その場合は、Wi-Fi 認定の無線 LAN モジュールを使用してください。

● IEEE802.11b を使用した場合、画面の更新が遅くなります。IEEE802.11g をご使用になることをおすすめします。

機種別の Live Viewer 対応バージョン

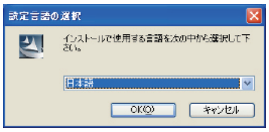
ライブモードに使用する Live Viewer は、機種によって対応するバージョンが異なります。
ご使用になるプロジェクターに、非対応バージョンのソフトウェアを使用した場合は正しく動作しません。日立のホームページから、対応する最新のソフトウェアをダウンロードし、インストールしてください。

日立ホームページ URL　http://www.hitachi.co.jp/proj/

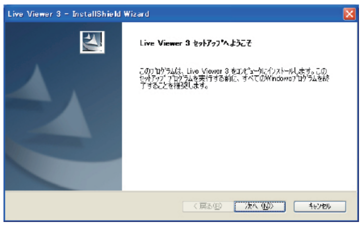
Live Viewer バージョン	機種名	
	CP-X268AJ、CP-X608J	CP-X308J、CP-X417J、CP-X807J、CP-X809J
2.1x	○	×
2.20	○	×
3.xx	○	○

インストール手順

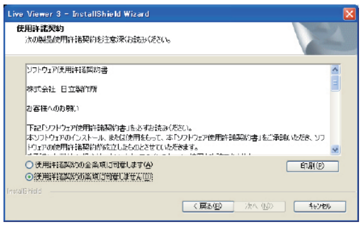
1) 開いているアプリケーションがあればすべて閉じてください。
2) ダウンロードしたファイルを解凍してください。
   Setup.exe ファイルが作成されます。
3) Setup.exe ファイルをダブルクリックしてください。
   Windows Vista をご使用の場合は、“ユーザーアカウント制御” ダイアログが表示されます。[次へ] をクリックしてください。
4) 少し間を置いて、右の “設定言語の選択” ウィンドウが表示されます。
   ご使用になりたい言語をプルダウンメニューから選択し、[OK] をクリックしてください。
   すでにインストールされている Live Viewer がある場合は削除されます。削除せずにインストール済みの Live Viewer を使用する場合は、[キャンセル] をクリックしてください。間違って Live Viewer を削除した場合は、2) からの手順に従って再インストールしてください。



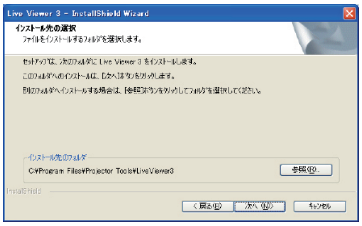
5) 少し間を置いて、右の “Live Viewer 3 ｾｯﾄｱｯﾌﾟへようこそ” ダイアログが表示されます。
   [次へ] をクリックしてください。



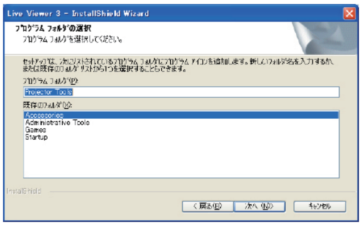
6) 右のライセンス契約書のダイアログが表示されます。
   読んだ上でご了承頂ければ、" 使用許諾契約の全条項に同意します " ラジオボタンをオンにして、[次へ] をクリックしてください。



7) “ｲﾝｽﾄｰﾙ先の選択” ダイアログが表示されます。
ここで [次へ] をクリックすると、C: ¥Program Files\Projector Tools\LiveViewer3 フォルダが作成され、プログラムがそのフォルダにインストールされます。別のフォルダにインストールしたい場合は、[参照] をクリックし、インストール先のフォルダを選択してから [次へ] をクリックしてください。

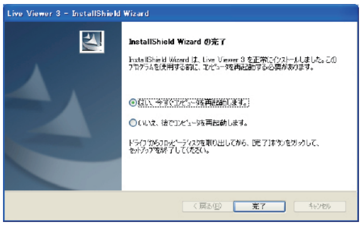


8) “ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ ﾌｫﾙﾀﾞ の選択” ダイアログが表示されます。
[スタート] メニューの [プログラム] に登録するフォルダ名が “Projector Tools” でよろしければ、[次へ] をクリックしてください。フォルダ名を変更したい場合は、お好きな名前を入力し、[次へ] をクリックしてください。
Windows Vista をご使用の場合は、“Windows ｾｷｭﾘﾃｨ” ダイアログが表示されます。“このドライバをインストールする” をクリックしてください。



9) ハードウェアのインストールのダイアログが表示されたら、[続行] をクリックしてください。

10) 少し間を置いて、インストールが完了すると、右の “InstallShield Wizard の完了” ダイアログが表示されます。
[完了] をクリックするとインストールが完了し、自動的に PC を再起動します。



お知らせ

●インストールが正常に終了すれば、[スタート] メニューの [プログラム] に、手順 8) で登録したフォルダと、その中に “LiveViewer3” が表示されます。

3.3 らくらくネットワーク接続

らくらく接続 MIU ツール“Live Viewer 3”（📖3-14）を使用したらくらくネットワーク接続には、何通りかの方法があります。ネットワーク接続の大まかな流れは、以下の通りです。どの接続手順を使用するかは、ご使用のネットワーク環境に合わせて選択してください。

“Live Viewer 3”を起動する（📖 下記）

↓

ネットワーク接続モード (アダプタ）を選択する（📖3-20）

- ・無線 LAN
- ・有線 LAN
- ・マイコネクション → 接続確認へ（📖3-33）

↓

接続方法を選択する（📖3-22）

- ・パスコード接続 → **パスコードを入力する**（📖3-23, 24）→ 接続確認へ（📖3-33）
- ・手動設定
- ・リストから選択 → 接続確認へ（📖3-33）

↓

手動での設定方法を選択する（📖3-28）

- ・プロファイル接続 → 接続確認へ（📖3-33）
- ・履歴リストから選択 → 接続確認へ（📖3-33）
- ・設定データを手動入力

↓

ネットワーク設定データを入力する（📖3-29）

↓

接続確認へ（📖3-33）

次項以降、Windows XP を使用する場合の、“Live Viewer 3” を使用した接続手順について説明します。

“Live Viewer 3”を起動する

管理者権限で PC にログオンし、デスクトップの“Live Viewer 3”アイコンをダブルクリック、もしくは [スタート] メニューの [プログラム] で、“Live Viewer 3”のインストール時に作成したフォルダから“Live Viewer 3”を選択してください。

■ PC 画面の解像度設定が XGA（1024x768）より大きい場合

右の解像度切り替えウィンドウが表示されます。
ここで解像度を変更しないと、画面の左上を基準に XGA（1024x768）分のみが本機の画面に表示されます。
解像度を変更する場合は、[はい] を、変更しない場合は [いいえ] をクリックしてください。[はい] をクリックすると、PC 画面の解像度設定が XGA に切り替えられます。

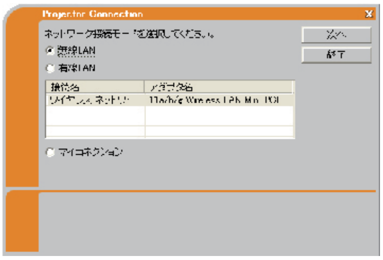


お知らせ

- ●解像度を変更した場合、PC のデスクトップにあるアイコンの並びが変更されることがあります。
- ●“Live Viewer 3”終了後は元の解像度に戻ります。
- ●ご使用の PC 画面の解像度変更については、PC の取扱説明書をご参照ください。

MIU 編

ネットワーク接続モードを選択する



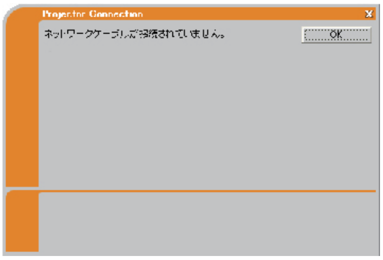
“Live Viewer 3”を起動すると、右のネットワーク接続モード選択ウィンドウが表示されます。
目的のプロジェクターをマイコネクションに登録していない場合は、無線 LAN、有線 LAN のどちらで接続するかを選択してください。“無線 LAN”を選択した場合は無線のネットワークアダプタが、“有線 LAN”を選択した場合は有線のネットワークアダプタが、下のリストに表示されます。リストから使用するネットワークアダプタを選択し、[次へ] をクリックしてください。
ネットワークアダプタを選択する際に問題がある場合は、以下のようなウィンドウが表示されます。

■選択されたネットワークアダプタが無効の場合



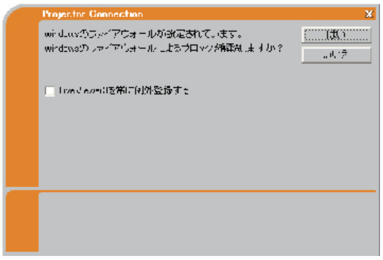
右のネットワークアダプタの設定切り替え画面が表示されます。
選択したネットワークアダプタを使用するには、[はい] をクリックしてアダプタを有効に設定してください。
他のネットワークアダプタを選択する場合は、[いいえ] をクリックしてネットワーク接続モード選択ウィンドウに戻ってください。

■本機と PC がネットワークケーブルで接続されていないときに、“有線 LAN”を選択した場合



右のケーブルが接続されていないことをお知らせするウィンドウが表示されます。
本機と PC が LAN ケーブルで接続されていることを確認してください。
[OK] をクリックすると、ネットワーク接続モード選択ウィンドウに戻ります。

■ Windows のファイアウォールが有効になっている場合



右のファイアウォールのブロック解除ウィンドウが表示されます。
“Live Viewer 3”を一時的に例外登録して接続を進めるには [はい] をクリックしてください。“LiveViewer3 を常に例外登録する”のチェックボックスをオンにすると、次回からファイアウォールのブロック解除ウィンドウは表示されません。
ファイアウォールを解除しない場合は、[いいえ] をクリックしてください。[いいえ] をクリックしてそのまま設定を進めると、本機と PC をネットワーク接続できない場合があります。

お知らせ

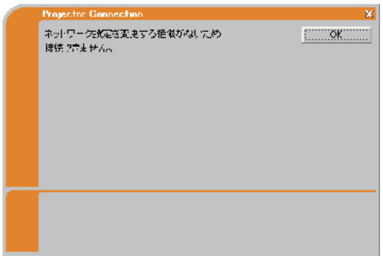
●ファイアウォール機能を備えたアプリケーションソフトウェアをインストールされている場合は、アプリケーションソフトウェアの説明書に従ってファイアウォールの設定を無効にしてください。

3.3 らくらくネットワーク接続（つづき）

目的のプロジェクター (本機) がマイコネクションに登録済みの場合は、“マイコネクション”を選択 (ラジオボタンをオン) し、[次へ] をクリックしてください。本機との接続処理を開始します。「3.6 接続確認」(📖**3-33**）にしたがって、本機との接続確認を行ってください。
マイコネクションへの設定データ登録は、「3.6 接続確認」、または「3.7 プロファイル」－「マイコネクション登録」(📖**3-37**）をご参照ください。
マイコネクションを使用する際に、確認事項、あるいは問題がある場合は、以下のようなウィンドウが表示されます。

■ PC に管理者権限でログオンしていない場合

ネットワーク設定を変更できないため、右の接続エラーウィンドウが表示されます。
ネットワーク管理者に確認し、管理者権限でログオンし直してください。
[OK] をクリックすると、ネットワーク接続モード選択ウィンドウに戻ります。



■選択した無線のネットワークアダプタが、既に使用中（他の機器に接続されている）の場合

右の接続先変更ウィンドウが表示されます。
本機に接続しなおす場合は [はい] を、接続をやめる場合は [いいえ] をクリックしてください。
[はい] をクリックすると、本機との接続処理を開始します。「3.6 接続確認」にしたがって、本機との接続確認を行ってください。
[いいえ] をクリックすると、ネットワーク接続モード選択ウィンドウに戻ります。

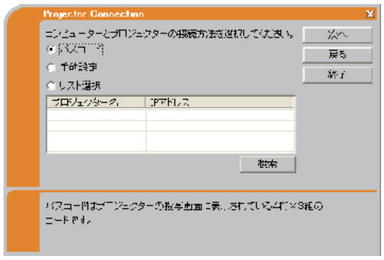


お知らせ

●マイコネクションを使用する場合、本機の「MIU」メニュー（📖**2-34**）の「セットアップ」（📖**2-37**）で「DHCP」を「オン」に設定していると、IP アドレスの割り当てが変更されるために接続できないことがあります。マイコネクションを使用する場合には、本機の「DHCP」を「オフ」に設定してください。
●マイコネクションの登録データがない場合には、“マイコネクション”は選択できません。

接続方法を選択する

ネットワーク接続ウィンドウでネットワークアダプタの選択後は、右の接続方法選択ウィンドウが表示されます。
ご利用のネットワーク環境に合わせて、お好みの方法を以下から選択してください。



■ “パスコード”接続

パスコードを使用する場合は、“パスコード”を選択 (ラジオボタンをオン) し、[次へ] をクリックしてください。
「3.4 パスコード接続」（📖**3-23**）にしたがって、パスコードを入力してください。

■ “手動設定”

ネットワークの設定データをプロファイルリストから選択する、接続履歴リストから選択する、ネットワークの設定を手動で入力する場合は、“手動設定”を選択 (ラジオボタンをオン) し、[次へ] をクリックしてください。
「3.5 手動設定」（📖**3-28**）にしたがって、各手順での設定を行ってください。

■ “リスト選択”

すでにご使用の PC と同じネットワークに接続されているプロジェクターに接続する場合は、“リスト選択”を選択 (ラジオボタンをオン) し、目的のプロジェクターをリストから選択して [次へ] をクリックしてください。接続処理を開始します。「3.6 接続確認」（📖**3-33**）にしたがって、接続確認を行ってください。

お知らせ

●ネットワークの使用状況によっては、プロジェクターが自動検索で検出されず、リストに表示されない場合があります。その場合は [検索] をクリックし、再検索してください。

3.4 パスコード接続

パスコードについて

パスコードは、プロジェクターの SSID、IP アドレスなど、ネットワーク接続に必要な情報を含む、’1’-‘9’の数字と’A’-‘Z’のアルファベットを組み合わせた 12 桁の記号です。パスコードを入力することにより、本機と PC を簡単に接続することができます。
パスコードは本機の投写画面に表示されます。パスコードの入力前に、次項を参照に、本機のメニューからパスコードを表示させて確認してください。
以下の条件に当てはまる場合は、パスコードの入力だけでなく、ネットワーク設定を手動で入力する必要があります。設定が必要な項目は、本機と PC の接続形態によって異なります。パスコードの入力後、「ネットワーク設定の手動入力」（📖**3-26**）を参照に、設定を入力してください。

- **暗号キーを使用する場合**
- **本機のデフォルト設定以外の SSID を使用する場合**
  本機のデフォルト設定 SSID は以下の 4 通りです。
  SSID 1: wireless
  SSID 2: WLANProjector1
  SSID 3: WLANProjector2
  SSID 4: WLANProjector3
- **クラス A、B、C のデフォルト以外のサブネットマスクを使用する場合**
  クラス A、B、C のデフォルトサブネットマスク：
  クラス A “255.0.0.0”、クラス B “255.255.0.0”、クラス C “255.255.255.0”

MIU 編

パスコードの確認

本機の使用状況によって、**手順 1** と **2** のどちらかの方法でパスコードを確認してください。
ライブモードで PC の画面を送信している場合や、PC レスプレゼンテーションをご使用中の場合、もしくは MIU 以外の信号を選択している場合は、**手順 2** で確認してください。

手順 1 <ライブモードの画面で確認する>

1. 本機の電源を入れ（📖**1-25**）、MIU の信号を選択してください（📖**1-29**）。
2. 詳細メニューを表示させ（📖**2-2, 3**）、「MIU」メニュー（📖**2-34**）から「ライブモード」を選択してください。
3. 投写画面にパスコードが表示されます。

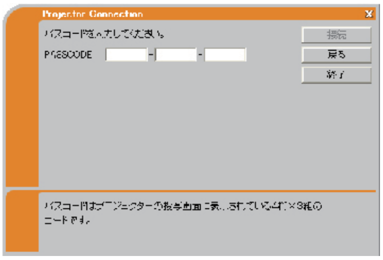
手順 2 < MIU のインフォメーション画面で確認する>

1. 本機の電源を入れてください。
2. 詳細メニューを表示させ、「MIU」メニューから「インフォメーション」（📖**2-42**）を選択してください。
3. 「MIU - インフォメーション -」ダイアログの、右上端にパスコードが表示されます。

お知らせ

●本機と PC の接続がない状態が 5 分間続くと、パスコードが変更されます。

パスコードの入力



「3.3 らくらくネットワーク接続」－「接続方法を選択する」の、接続方法確認ウィンドウで“パスコード”を選択後、右のパスコードの入力ウィンドウが表示されます。前項で確認した 12 桁のパスコードを、4 桁ずつ 3 つのボックスに入力してください。

（例）PASSCODE: 1234 - 5678 - 9ABC

パスコードの入力後、[接続] をクリックすると、本機との接続処理を開始します。「3.6 接続確認」（📖**3-33**）にしたがって、本機との接続確認を行ってください。

暗号キー、本機のデフォルト設定以外の SSID、クラス A、B、C のデフォルト以外のサブネットマスクを使用する場合は、パスコードを入力、[接続] をクリックした後に、ネットワーク設定を手動で入力する必要があります。「ネットワーク設定の手動入力」（📖**3-26**）を参照に、設定を入力してください。

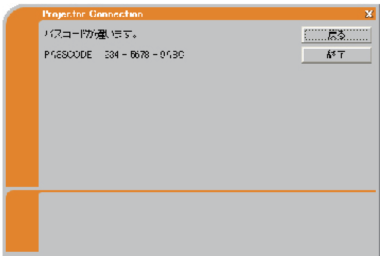
[戻る] をクリックすると、接続方法確認ウィンドウに戻ります。

お知らせ

●パスコードを入力する際に、大文字と小文字の区別はありません

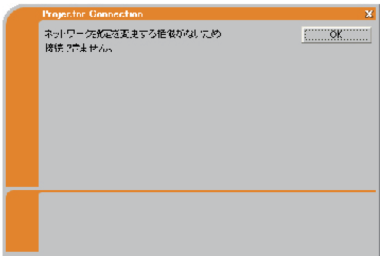
パスコードを入力して接続する際に、確認事項、あるいは問題がある場合は、以下のようなウィンドウが表示されます。

■入力したパスコードが間違っている場合



右のパスコード入力エラーウィンドウが表示されます。
前項にしたがって、再度パスコードを確認し、パスコード入力ウィンドウでパスコードを入力しなおしてください。
[OK] をクリックすると、パスコード入力ウィンドウに戻ります。

■ PC に管理者権限でログオンしていない場合

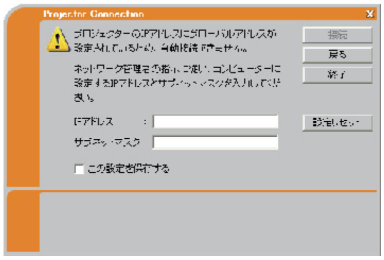


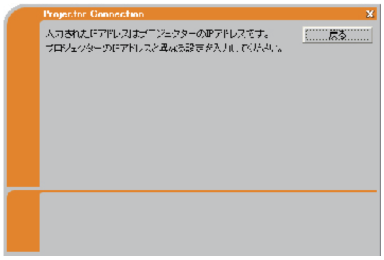
ネットワーク設定を変更できないため、右の接続エラーウィンドウが表示されます。
ネットワーク管理者に確認し、管理者権限でログオンし直してください。
[OK] をクリックすると、本機との接続処理を行わないまま、“Live Viewer 3”のメインメニューが表示されます。
メインメニューの　をクリックすると、接続方法の選択ウィンドウからやり直すことができます。

3.4 パスコード接続（つづき）

■**本機の IP アドレスの設定がグローバルアドレスである場合**

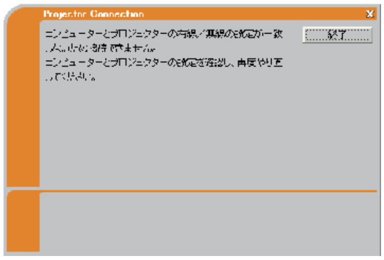
右のグローバルアドレスの警告ウィンドウが表示されます。ネットワーク管理者に確認して、PC に設定する“IP アドレス”と“サブネットマスク”を入力し、[接続] をクリックしてください。“この設定を保存する”のチェックボックスをオンにすると、次回からこの警告ウィンドウは表示されません。
入力した設定を取り消す場合は、[設定リセット]ボタンをクリックしてください。
入力した IP アドレスが本機の IP アドレスと重なった場合は、さらに右の警告ウィンドウが表示されます。「戻る」をクリックして、グローバルアドレスの警告ウィンドウで、本機の IP アドレスと異なる設定を再度入力してください。





■**選択したネットワーク接続モードとプロジェクターの設定が不一致の場合**

右の有線／無線の設定不一致の警告ウィンドウが表示されます。本機の「MIU」メニュー（📖**2-34**）－「セットアップ」（📖**2-37**）－「ネットワークモード」（📖**2-40**）の設定、および使用するネットワークアダプタを確認してください。
[OK] をクリックすると、本機との接続処理を行わないまま、“Live Viewer 3”のメインメニューが表示されます。
ネットワーク接続モード（アダプタ）の選択からやり直す場合は、“Live Viewer 3”を一旦終了してから再度起動してください。



■**選択した無線のネットワークアダプタが、既に使用中（他の機器に接続されている）の場合**

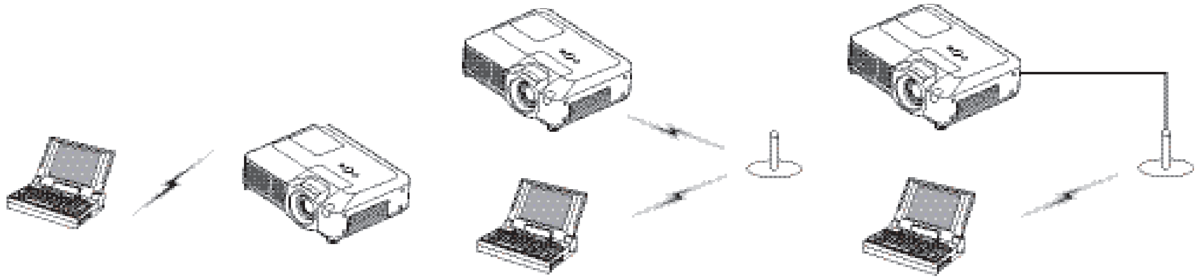
右の接続先変更ウィンドウが表示されます。
本機に接続しなおす場合は [はい] を、接続をやめる場合は [いいえ] をクリックしてください。
[はい] をクリックすると、本機との接続処理を開始します。「3.6 接続確認」（📖**3-33**）にしたがって、本機との接続確認を行ってください。
[いいえ] をクリックすると、本機との接続処理を行わないまま、“Live Viewer 3”のメインメニューが表示されます。



ネットワーク設定の手動入力

暗号を使用する、本機のデフォルト設定以外の SSID を使用する、クラス A、B、C のデフォルト以外のサブネットマスクを使用する場合は、前項のパスコードの入力ウィンドウでパスコード入力後に、ネットワーク設定の各項目を手動で設定する必要があります。
表示されるウィンドウ、入力する項目は、本機と PC の接続制御方式、接続形態によって、以下のように異なります。

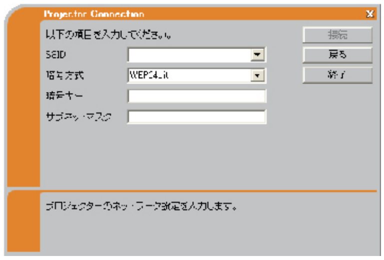
■無線 LAN で接続する場合



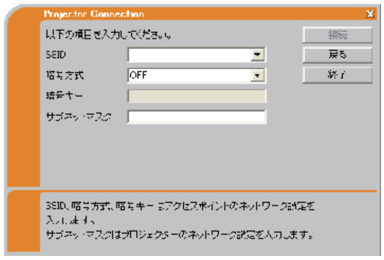
AD-HOC　　INFRASTRUCTURE アクセスポイントまで無線 LAN　　INFRASTRUCTURE アクセスポイントまで有線 LAN

以下の場合には、右のネットワーク設定入力ウィンドウが表示されます。
- ・本機と PC を 1 対 1 で接続し、アクセスポイントを経由しない、AD-HOC モードを使用する。
- ・アクセスポイントを経由する、INFRASTRUCTURE モードを使用し、本機からアクセスポイントまで無線 LAN で接続する。

必要に応じて、“SSID”、“暗号方式”、“暗号キー”、“サブネットマスク”に、本機のネットワーク設定を入力してください。



アクセスポイントを経由する、INFRASTRUCTURE モードを使用し、本機からアクセスポイントまで有線 LAN で接続する場合は、右のネットワーク設定入力ウィンドウが表示されます。
必要に応じて、SSID、暗号方式、暗号キーには、アクセスポイントのネットワーク設定を、サブネットマスクには、本機のネットワーク設定を入力してください。



（例）	**SSID**	**：WirelessAccessPoint**
	暗号方式	**：WEP64bit**
	暗号キー	**：* * * * * * * * * * ***
	サブネットマスク	**：255. 255. 255. 128**

各項目を設定後、[接続] をクリックすると、本機との接続処理を開始します。「3.6 接続確認」（📖**3-33**）にしたがって、本機との接続確認を行ってください。

お知らせ

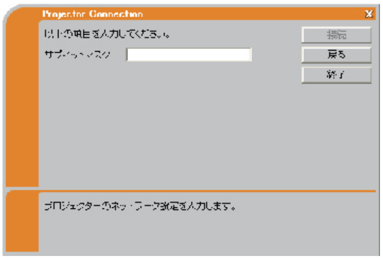
●アクセスポイントの設定は、ネットワーク管理者に確認してください。
●本機のネットワーク設定は、「MIU」メニュー（📖**2-34**）の「インフォメーション」（📖**2-42**）で確認してください。
●本機に設定された SSID をここで設定するには、手動で入力する方法と、検出した SSID のリストから選択する方法があります。
●暗号を使用する場合、本機に設定されている暗号キーは、ネットワーク管理者に確認してください。入力された暗号キーは、全て“＊”で表示されます。

■有線 LAN で接続する場合

クラス A、B、C のデフォルト以外のサブネットマスクを使用する場合には、右のネットワーク設定入力ウィンドウが表示されます。本機に設定された、サブネットマスクを入力してください。

（例）サブネットマスク　：255. 255. 255. 128

サブネットマスクを入力後、[接続] をクリックすると、本機との接続処理を開始します。「3.6 接続確認」（📖**3-33**）にしたがって、本機との接続確認を行ってください。

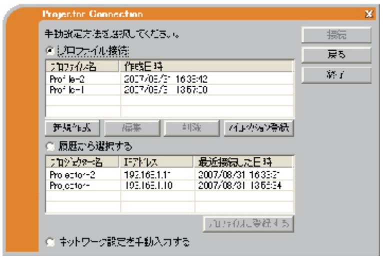


お知らせ

●本機のネットワーク設定は、「MIU」メニュー（📖**2-34**）の「インフォメーション」（📖**2-42**）で確認してください。

MIU 編

3.5 手動設定



「3.3 らくらくネットワーク接続」－「接続方法を選択する」の、接続方法確認ウィンドウで“手動設定”を選択後、右の手動設定方法選択ウィンドウが表示されます。お好みの方法を以下から選択してください。

■ **“プロファイル接続”**
登録してあるネットワークの設定データをプロファイルリストから選択し、接続します。

■ **“履歴から選択する”**
以前、“Live Viewer 3”を使用してネットワークに接続したプロジェクターの設定データを、履歴リストから選択し、接続します。

■ **“ネットワーク設定を手動入力する”**
ネットワークの設定を、全て手動で行います。

[戻る] をクリックすると、接続方法確認ウィンドウに戻ります。

プロファイル接続

手動設定方法選択ウィンドウで“プロファイル接続”を選択 (ラジオボタンをオン) し、リストから目的のプロファイルデータを選択してください。データを選択後、[接続] をクリックすると、本機との接続処理を開始します。「3.6 接続確認」(📖**3-33**)にしたがって、本機との接続確認を行ってください。プロファイルデータの登録方法は、「3.7 プロファイル」（📖**3-36**）をご参照ください。

お知らせ

●プロファイルを使用する場合、本機の「MIU」メニュー（📖**2-34**）の「セットアップ」（📖**2-37**）で「DHCP」を「オン」に設定していると、IP アドレスの割り当てが変更されるために接続できないことがあります。プロファイルを使用する場合には、本機の「DHCP」を「オフ」に設定してください。
●以下の手順で、プロファイルの内容を確認することができます。
1）確認したいプロファイルをリストから選択し、右クリックでポップアップメニューを表示します。
2）ポップアップメニューのプロパティを選択すると、選択したプロファイルの詳細が表示されます。

履歴から選択する

手動設定方法選択ウィンドウで“履歴から選択する”を選択 (ラジオボタンをオン) し、リストから目的の設定データを選択してください。データを選択後、[接続] をクリックすると、本機との接続処理を開始します。「3.6 接続確認」にしたがって、本機との接続確認を行ってください。

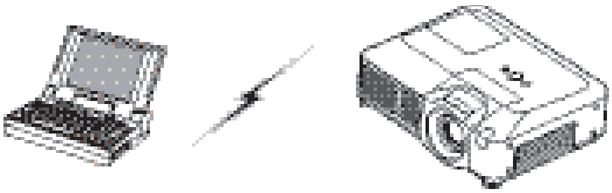
お知らせ

●1 つのネットワークアダプタに対して、最大 10 個の接続履歴が記録されます。履歴が 10 個を超えた場合、接続した日時の古いものから順に新しい接続履歴に置き換えられます。
●接続した日時の情報は、本機と接続した時点で更新されます。
●履歴リストを使用する場合、本機の「MIU」メニューの「セットアップ」で「DHCP」を「オン」に設定していると、IP アドレスの割り当てが変更されるために接続できないことがあります。履歴リストを使用する場合には、本機の「DHCP」を「オフ」に設定してください。
●プロファイルデータを選択して接続した場合も、接続履歴に記録されます。

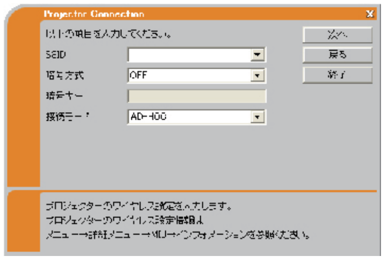
ネットワーク設定を手動入力する

手動設定方法選択ウィンドウで“ネットワーク設定を手動入力する”を選択 (ラジオボタンをオン) し、[次へ] をクリックしてください。
表示されるウィンドウ、入力する項目は、本機と PC の接続制御方式、接続形態によって、以下のように異なります。

■無線 LAN で接続する場合－ AD-HOC モード

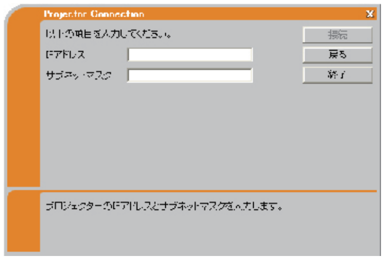


本機と PC を 1 対 1 で接続し、アクセスポイントを経由しない、AD-HOC モードを使用する場合は、右のワイヤレス接続設定ウィンドウが表示されます。
“SSID”、“暗号方式”、“暗号キー”、“サブネットマスク”には、本機のワイヤレス接続設定を入力し、“接続モード”には“AD-HOC”を選択してください。



(例) SSID　　　：wireless
暗号方式　：WEP64bit
暗号キー　：＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
接続モード：AD-HOC

各項目を設定後、[次へ] をクリックすると、右の IP アドレス入力ウィンドウが表示されます。本機の“IP アドレス”と“サブネットマスク”を入力してください。



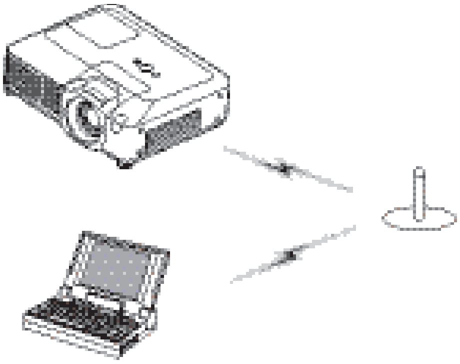
(例) IP アドレス　　　：192.168.1.10
サブネットマスク　：255.255.255.0

設定を入力後、[接続] をクリックすると、本機とのワイヤレス接続処理を開始します。「3.6 接続確認」（📖**3-33**）にしたがって、本機との接続確認を行ってください。

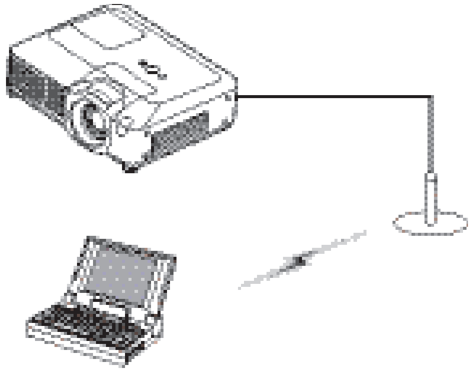
お知らせ

●本機のネットワーク設定は、「MIU」メニュー（📖**2-34**）の「インフォメーション」（📖**2-42**）で確認してください。
●暗号を使用する場合、本機に設定されている暗号キーは、ネットワーク管理者に確認してください。入力された暗号キーは、全て“＊”で表示されます。

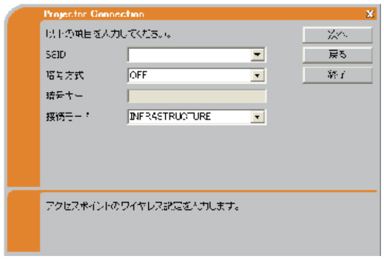
■無線 LAN で接続する場合－ INFRASTRUCTURE モード



INFRASTRUCTURE
アクセスポイントまで無線 LAN

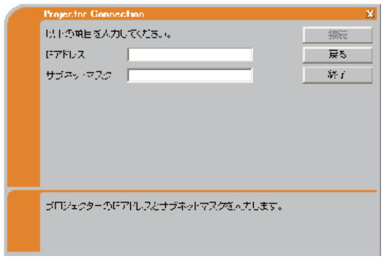


INFRASTRUCTURE
アクセスポイントまで有線 LAN



アクセスポイントを経由する、INFRASTRUCTURE モードを使用する場合は、右のワイヤレス接続設定ウィンドウが表示されます。本機からアクセスポイントまでの接続が有線 LAN でも無線 LAN でも、設定する項目は同じです。
“SSID”、“暗号方式”、“暗号キー”、“サブネットマスク”には、アクセスポイントの設定を入力し、“接続モード”には“INFRASTRUCTURE”を選択してください。

（例）SSID　　　　　　**：WirelessAccessPoint**
暗号方式　　　　　　**：WEP64bit**
暗号キー　　　　　　**：＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊**
サブネットマスク　　**：255. 255. 255. 128**



各項目を設定後、[次へ] をクリックすると、右の IP アドレス入力ウィンドウが表示されます。本機の“IP アドレス”と“サブネットマスク”を入力してください。

（例）IP アドレス　　　**：192.168.1.10**
サブネットマスク　　**：255.255.255.0**

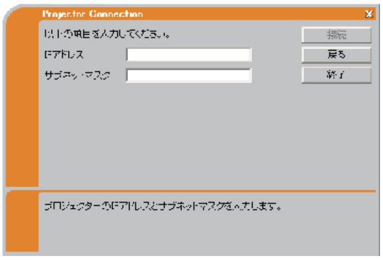
設定を入力後、[接続] をクリックすると、本機との無線 LAN 接続処理を開始します。「3.6 接続確認」（📖**3-33**）にしたがって、本機との接続確認を行ってください。

お知らせ

●アクセスポイントの設定は、ネットワーク管理者に確認してください。
●本機のネットワーク設定は、「MIU」メニュー（📖**2-34**）の「インフォメーション」（📖**2-42**）で確認してください。
●暗号を使用する場合、本機に設定されている暗号キーは、ネットワーク管理者に確認してください。入力された暗号キーは、全て“＊”で表示されます。

3.5 手動設定（つづき）

■有線 LAN で接続する場合



有線 LAN で本機と PC を接続する場合は、右の IP アドレス入力ウィンドウが表示されます。本機の“IP アドレス”と“サブネットマスク”を入力してください。

（例）IP アドレス　　　：192.168.1.10
**　　　サブネットマスク　：255.255.255.0**

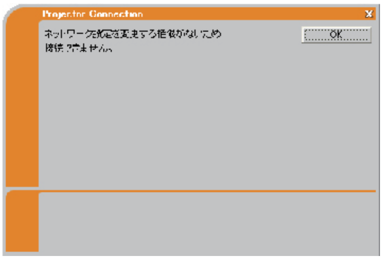
設定を入力後、[接続] をクリックすると、本機との接続処理を開始します。「3.6 接続確認」（📖**3-33**）にしたがって、本機との接続確認を行ってください。

お知らせ

●本機のネットワーク設定は、「MIU」メニュー（📖**2-34**）の「インフォメーション」（📖**2-42**）で確認してください。

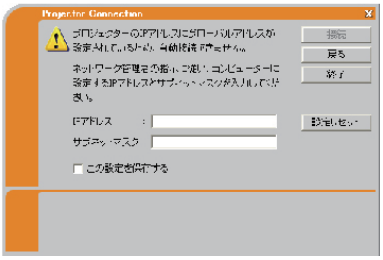
ネットワークを手動で設定して接続する際に、確認事項、あるいは問題がある場合は、以下のようなウィンドウが表示されます。

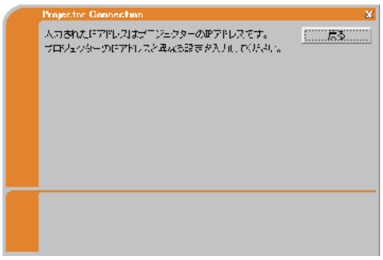
■ PC に管理者権限でログオンしていない場合



ネットワーク設定を変更できないため、右の接続エラーウィンドウが表示されます。
ネットワーク管理者に確認し、管理者権限でログオンし直してください。
[OK] をクリックすると、本機との接続処理を行わないまま、“Live Viewer 3”のメインメニューが表示されます。
メインメニューの接続ボタン（📖**3-38**）をクリックすると、接続方法の選択ウィンドウからやり直すことができます。

■本機の IP アドレスの設定がグローバルアドレスである場合

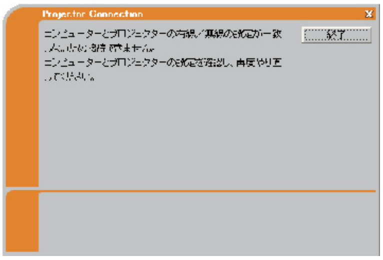




右のグローバルアドレスの警告ウィンドウが表示されます。
ネットワーク管理者に確認して、PC に設定する“IP アドレス”と“サブネットマスク”を入力し、[接続] をクリックしてください。“この設定を保存する”のチェックボックスをオンにすると、次回からこの警告ウィンドウは表示されません。
入力した設定を取り消す場合は、[設定リセット] ボタンをクリックしてください。
入力した IP アドレスが本機の IP アドレスと重なった場合は、さらに右の警告ウィンドウが表示されます。「戻る」をクリックして、グローバルアドレスの警告ウィンドウで、本機の IP アドレスと異なる設定を再度入力してください。

MIU 編

■選択したネットワーク接続モードとプロジェクターの設定が不一致の場合



右の有線／無線の設定不一致の警告ウィンドウが表示されます。
本機の「MIU」メニュー（📖**2-34**）－「セットアップ」（📖**2-37**）－「ネットワークモード」（📖**2-40**）の設定、および使用するネットワークアダプタを確認してください。
[OK] をクリックすると、本機との接続処理を行わないまま、“Live Viewer 3”のメインメニューが表示されます。
ネットワーク接続モード(アダプタ)の選択からやり直す場合は、“Live Viewer 3”を一旦終了してから再度起動してください。

■選択した無線のネットワークアダプタが、既に使用中（他の機器に接続されている）の場合

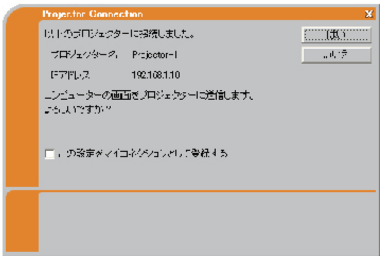


右の接続先変更ウィンドウが表示されます。
本機に接続しなおす場合は [はい] を、接続をやめる場合は [いいえ] をクリックしてください。
[はい] をクリックすると、本機との接続処理を開始します。「3.6 接続確認」（📖**3-33**）にしたがって、本機との接続確認を行ってください。
[いいえ] をクリックすると、本機との接続処理を行わないまま、“Live Viewer 3”のメインメニューが表示されます。

3.6 接続確認

“Live Viewer 3”でのネットワーク接続設定後、接続処理が実行されると、接続完了、もしくは接続エラーのウィンドウが表示されます。
接続が完了したら、「接続完了と画面の送信」（📖 **下記**）にしたがって、目的のプロジェクターに接続されていることを確認し、画面の送信を開始、「ライブモードに設定する」（📖**3-35**）にしたがって本機をライブモードに設定してください。接続が完了しなかった場合は、「接続エラー」（📖**3-34**）にしたがって、再度ネットワークの接続設定を行ってください。

接続完了と画面の送信

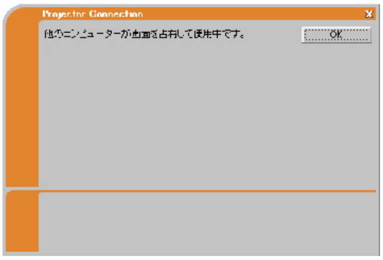


ネットワークの接続処理が正常に完了すると、右の接続完了と画面の送信の確認ウィンドウが表示されます。
目的のプロジェクター (本機) に接続されていることを、ウィンドウに表示されたプロジェクター名と IP アドレスで確認してください。
接続先を確認した後で、PC の画面を本機に送信する場合は [はい] をクリックしてください。画面の送信を開始し、“Live Viewer 3”のメインメニューが表示されます。送信された画面を本機で表示するためには､「ライブモードに設定する」にしたがって､本機をライブモードに設定してください。
[いいえ] をクリックすると、画面の送信はせず、“Live Viewer 3”のメインメニューがスタンバイ状態で表示されます。スタンバイ中のメインメニューで、キャプチャ開始ボタン、または表示モード切替ボタン（📖**3-38**）をクリックすると、PC の画面の送信を開始することができます。

> **お知らせ**
> ● “この設定をマイコネクションとして登録する”チェックボックスをオンにすると、接続が完了したプロジェクターの設定データをマイコネクションに登録することができます。

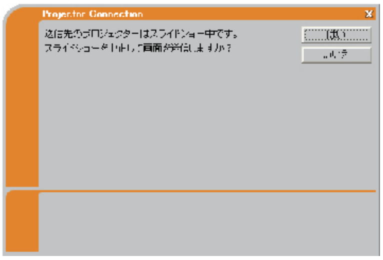
PC の画面を本機に送信する際に、確認事項、あるいは問題がある場合は、以下のようなウィンドウが表示されます。

■画像送信先のプロジェクターが、他の PC にプレゼンターモード ON で使用されている場合



右のプレゼンターモードによる表示禁止ウィンドウが表示されます。
プレゼンターモードが OFF されてから再度画面の送信を実行してください。
[OK] をクリックすると、画面の送信はせず、“Live Viewer 3”のメインメニューがスタンバイ状態で表示されます。

■画像送信先のプロジェクターが、スライドショーを実行している場合



右のスライドショー停止確認ウィンドウが表示されます。
スライドショーを中止し､ライブモードに切り替えるには､[はい] をクリックしてください。
[いいえ] をクリックすると、画面の送信はせず、“Live Viewer 3”のメインメニューがスタンバイ状態で表示されます。

■画像送信先のプロジェクターが、ライブモード以外の MIU 動作モードに設定されている場合

右の MIU の動作モード切り替えウィンドウが表示されます。
MIU の動作モードをライブモードに切り替えるには、[はい] をクリックしてください。
[いいえ] をクリックすると、画面の送信はせず、“Live Viewer 3”のメインメニューがスタンバイ状態で表示されます。



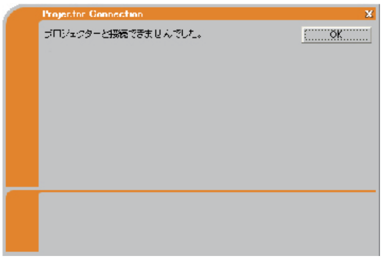
■画像送信先のプロジェクターが、MIU 以外の入力信号を選択している場合

右の入力チャンネル切り替えウィンドウが表示されます。
プロジェクターの入力信号を MIU に切り替えるには、[はい] をクリックしてください。
[いいえ] をクリックすると、画面の送信はせず、“Live Viewer 3”のメインメニューがスタンバイ状態で表示されます。

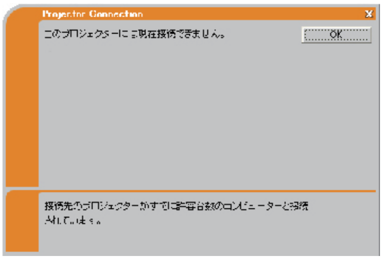


接続エラー

目的のプロジェクターと接続できず、接続が完了しなかった場合は、右の接続エラーウィンドウが表示されます。
[OK] をクリックすると本機との接続処理を行わないまま、“Live Viewer 3”のメインメニューが表示されます。
メインメニューの接続ボタン（📖3-38）をクリックして、接続方法の選択ウィンドウから接続設定をやり直してください。（「3.3 らくらくネットワーク接続」－「ネットワーク接続モードを選択する」（📖3-20））



また、接続先のプロジェクターがすでに接続許容台数（5 台）の PC と接続され、接続が完了しなかった場合には、右の接続台数制限ウィンドウが表示されます。
[OK] をクリックすると、本機との接続処理を行わないまま、“Live Viewer 3”のメインメニューが表示されます。
メインメニューの接続ボタンをクリックして、接続方法の選択ウィンドウから接続設定をやり直してください。（「3.3 らくらくネットワーク接続」－「ネットワーク接続モードを選択する」）



お知らせ

●接続方法の選択ウィンドウで“マイコネクション”を選択した場合は、接続エラーウィンドウで [OK] をクリックすると“Live Viewer 3”を終了します。本機の設定を確認し、始めからやり直してください。（📖3-19）

ライブモードに設定する

WEB リモコンの [LIVE MODE] ボタンで、または本機のメニュー、付属のリモコンの MY BUTTON（「マイボタン」での登録が必要です）でもライブモードを開始することができます。

■ WEB リモコンで設定する

1．本機と PC をネットワークで接続（📖**3-7**）して本機の電源を入れ（📖**1-25**）、PC で Web ブラウザを起動、ネットワークにログオンしてください（📖**3-43**）。
2．WEB コントロールのメインメニューで [Remote Control] をクリックし、WEB リモコンを開いてください。
3．[LIVE MODE] ボタンをクリックします（📖**3-59**）。

■本機のメニューから設定する

1．本機の電源を入れてください。
2．詳細メニューを表示させ（📖**2-2, 3**）、「MIU」メニュー (📖**2-34**）から「ライブモード」を選択します。

■付属のリモコンの MY BUTTON（マイボタン）に登録して操作する

1．本機の電源を入れて詳細メニューを表示させ、「その他」メニュー (📖**2-21**）から「マイボタン」（📖**2-23**）を選択します。
2．「ライブモード」を割り当てる MY BUTTON 1 または 2 を◀ / ▶ボタンで選択し、▲ / ▼ボタンで「ライブモード」を選択します。

ライブモードに設定するには、「ライブモード」を割り当てた MY BUTTON 1 または 2 を押します。

お知らせ

●ライブモードに設定すると、自動的に本機の入力信号は MIU に切り替わります。

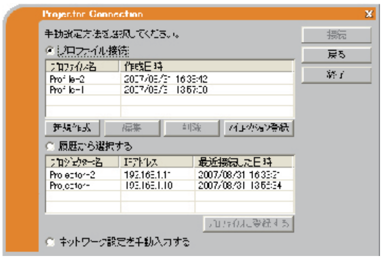
MIU 編

3.7 プロファイル

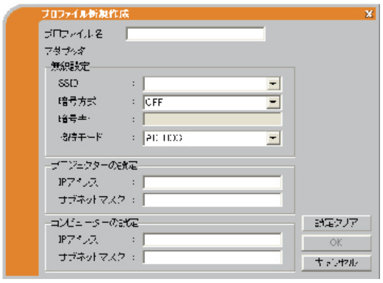
プロファイルについて

本機と PC を接続するためのネットワーク設定データを、プロファイルデータとして“Live Viewer 3”に登録することができます。登録後は、リストからプロファイルを選択するだけで、簡単に本機と接続することができます。
同じネットワークを環境で PC を使用する場合に便利です。

プロファイルの作成



プロファイルの作成・登録は、手動設定方法選択ウィンドウから行います。手動設定方法選択ウィンドウの表示方法については、「3.3 らくらくネットワーク接続」(📖**3-19**)、および「3.5 手動設定」(📖**3-28**)をご参照ください。
プロファイルは 1 つのネットワークアダプタに対して最大 10 個まで作成することができます。



1)“プロファイル接続”の下の、[新規作成] をクリックすると、右のプロファイルの作成ウィンドウが表示されます。
すでに 10 個のプロファイルが存在する場合は、新しく作成することができません。登録されているプロファイルを削除(📖**3-37**)してから作成してください。

2) プロファイルとして登録する、本機と PC のネットワーク設定を入力してください。
入力した設定を一括で消去したい場合は、[設定クリア] をクリックしてください。

3) 必要な設定項目を全て入力したら、[OK] をクリックしてください。
正しく作成できれば、手動設定方法選択ウィンドウのプロファイルリストに、作成したプロファイルが表示されます。
作成を中止する場合は、[キャンセル] をクリックしてください。

お知らせ

●プロファイルの新規作成後は、一度、プロファイルリストから作成したプロファイルを選択し、プロファイル接続(📖**3-28**)で本機と PC が接続できることをご確認ください。
●本機のワイヤレスネットワークカードを差し替えた場合、また、PC のネットワークアダプタを変更した場合は、プロファイルを再度作成してください。

プロファイルの編集・削除

手動設定方法の選択ウィンドウ（📖3-28）からプロファイルの編集・削除を行うことができます。
プロファイルを削除する場合は、“プロファイル接続”の下の、プロファイルリストから、削除したいプロファイルを選択し、[削除] をクリックしてください。
プロファイルを編集する場合は、以下の手順に従ってください。



1）“プロファイル接続”の下の、プロファイルリストから、編集したいプロファイルを選択し、[編集] をクリックすると、右のプロファイルの編集ウィンドウが表示されます。
各入力ボックスには現在設定されているネットワーク設定が表示されます。
2）ネットワーク設定を編集してください。
設定されているネットワーク設定を一括で削除したい場合は [設定クリア] ボタンをクリックしてください。
3）変更する設定項目を全て入力したら、[OK] をクリックしてください。
編集が正しく行われた場合は、手動設定方法選択ウィンドウのプロファイルリストの作成日時が更新されます。
編集を中止する場合は、[キャンセル] をクリックしてください。

お知らせ

●プロファイルの編集後は、一度、プロファイルリストから編集したプロファイルを選択し、プロファイル接続（📖3-28）で本機と PC が接続できることをご確認ください。

マイコネクション登録

作成したプロファイルを、さらにマイコネクションプロファイルとして登録することができます。特に頻繁に使用するプロファイルをマイコネクションとして登録すると便利です。
マイコネクションの登録は、手動設定方法の選択ウィンドウから行います。



1）“プロファイル接続”の下のプロファイルリストから、マイコネクションに登録したいプロファイルを選択し、[マイコネクション登録] をクリックすると、右のプロファイルの一覧ウィンドウが表示されます。
マイコネクション登録されているプロファイルは、チェックボックスがオンになっています。
2）一覧からマイコネクションに登録するプロファイルを 1 つ選択 (チェックボックスをオン) してください。
先にマイコネクションに登録されていたプロファイルのチェックボックスがオフされます。
3）[OK] をクリックし、ウィンドウを閉じてください。
登録を中止する場合は、[キャンセル] をクリックしてください。

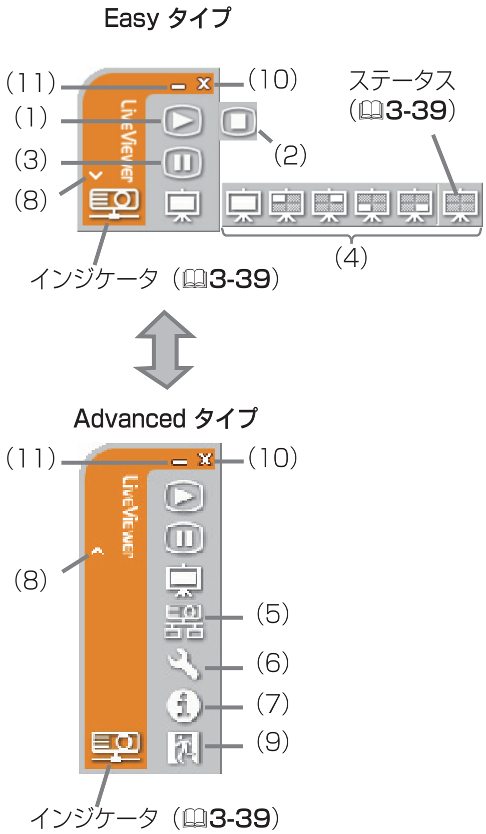
お知らせ

●マイコネクション登録を解除する場合は、プロファイルの一覧で、プロファイルのチェックボックスをオフにして [OK] をクリックしてください。
●プロファイルの一覧には、選択しているネットワークアダプタに関係なく、全てのプロファイルが表示されます。選択していないネットワークアダプタのプロファイルをマイコネクションに登録することも可能です。
●マイコネクションは、接続完了と画面の送信の確認ウィンドウ（📖3-33）からも登録することができます。

3.8 “Live Viewer 3” の操作

ネットワークの接続設定後、PC 画面には “Live Viewer 3” のメインメニューが表示されます。
メインメニューは、Easy タイプと Advanced タイプの２種類のメニュータイプを切り替えて使用することができます。起動時は前回終了時のメニュータイプで表示されますが、本機と PC が接続されていない場合は、かならず Advanced タイプで表示されます。

メインメニュー



(1) キャプチャ開始ボタン
　本機への PC 画面の送信を開始します。画面の送信を開始すると、停止ボタンに変化します。

(2) 停止ボタン
　PC 画面の送信を停止します。画面の送信を停止すると、キャプチャ開始ボタンに変化します。

(3) 一時停止ボタン
　PC 画面の送信を一時停止し、最後に表示されていた PC 画面を本機の投写画面上に残します。
　ファイル修正など、本機の画面に表示せず、PC 上で作業したい場合などに便利です。

(4) 表示モード切替ボタン
　表示モードを切り替えます（📖**3-15**）。
　クリックすると、シングル PC モード、マルチ PC モード 1、2、3、4 への切替ボタン、およびマルチ PC モードのステータスが表示されます。
　キャプチャ開始／停止ボタンの機能も兼用しています。

(5) 接続ボタン
　接続方法選択ウィンドウを表示します。(📖**3-22**)

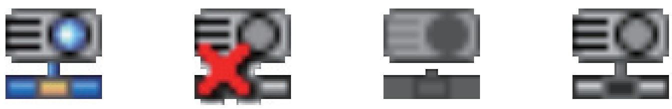
(6) オプションボタン
　オプションメニューを表示します。(📖**3-41**)

(7) インフォメーションボタン
　“Live Viewer 3” のバージョン情報を表示します。

(8) メニュータイプ切替ボタン
　Easy タイプから Advanced タイプへ、Advanced タイプから Easy タイプへ、メインメニューを切り替えます。

(9), (10) 終了ボタン
　本機との接続を切断し、“Live Viewer 3” を終了します。

(11) 最小化ボタン
　メインメニューを閉じ、PC のタスクトレイに下のようなアイコンで表示します。本機との接続状態によって、下図のアイコンが表示されます。
　メインメニューを再表示するには、アイコンをダブルクリックしてください。



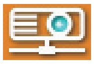
接続中　切断中　未接続　待機中

> **お知らせ**
> ●キャプチャ開始ボタンと停止ボタンを頻繁にクリックすると、画面が正常に表示されなくなることがありますので、おやめください。

ステータス表示

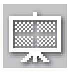
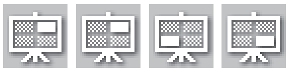
■インジケータ

メインメニューのインジケータ (📖**3-38**) で、本機と PC の接続状態を表示します。

インジケータ	ステータス	接続状態
	未接続	本機と PC が未接続です。
	待機中	本機とは接続されていますが、PC 画面を送信していません。
	接続中	本機と接続し、PC 画面を送信中です。 接続処理中はインジケータが点滅します。
	接続中断	本機との接続が切断されました。

■マルチ PC モードのステータス

表示モード切替ボタンのステータス (📖**3-38**) で、本機がマルチ PC モードで使用されている場合の、４分割画面の使用状況を表示します。

ステータス	画面使用状況
	１台も表示していません
	１台分の PC 画面を表示
	２台分の PC 画面を表示
	２台分の PC 画面を表示
	４台分の PC 画面を表示

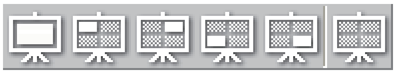
お知らせ

●ステータス表示は 3 秒間隔で更新されます。ステータスが取得できない場合は表示されません。
●接続中にマウスカーソルをインジケータ上に置くと、現在接続しているプロジェクターのプロジェクター名と IP アドレスの設定を確認することができます。また、現在のプレゼンターモードの状態が表示されます。

表示モードの切り替え

表示モードのシングル PC モードとマルチ PC モードを切り替えるには、メインメニューの表示モード切替ボタンを使用します。

1）メインメニューの表示モード切替ボタンをクリックし、各表示モードへの切替ボタンとマルチ PC モードのステータスを表示させます。



① ② ③ ④ ⑤ (⑥)

①シングル PC モードボタン：投射画面全体に表示
②マルチ PC モード 1 ボタン：投射画面の左上に表示
③マルチ PC モード 2 ボタン：投写画面の右上に表示
④マルチ PC モード 3 ボタン：投写画面の左下に表示
⑤マルチ PC モード 4 ボタン：投写画面の右下に表示
(⑥マルチ PC モードのステータス)

2）①～⑤のボタンから表示したいモードをクリックすると、本機の投写画面が、選択した表示モードの画面に切り替わり、PC の画面を送信します。

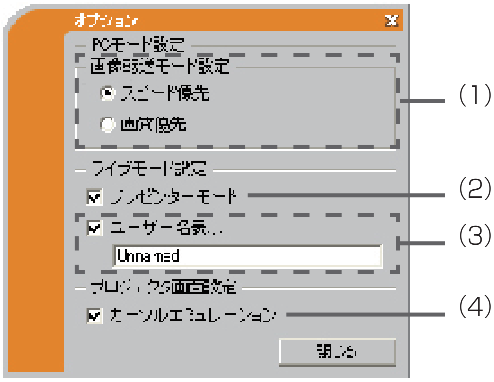
4）メインメニューの、表示モードの切替ボタンが、選択した表示モードのボタンに切り替わります。

お知らせ

●“Live Viewer 3”のインストール後最初の起動時、ライブモードはシングル PC モードで表示されますが、2 度目以降は、前回終了するときに選択されていた表示モードで表示されます。
●使用中の表示モード、表示位置と同じ切替ボタンをクリックすると、画面の送信が停止します。もう一度同じ切替ボタンをクリックすると、画面の送信を再開します。
●マルチ PC モードのどれかを選択すると、本機の投写画面は自動的に4分割画面に切り替わります。
●プレゼンターモードをオンにしてシングル PC モードで本機を使用している PC がある場合は、他の PC は表示モード切替ボタンをクリックすることができません。
●マルチ PC モードで別の PC が画面を送信している表示位置を指定した場合は、先に表示されていた PC は本機との接続が切断されます。
●表示モードは、本機の「MIU」メニュー（📖**2-34**）－「ライブモード設定」－「マルチ PC モード」（📖**2-35**）からも変更できます。"Live Viewer 3" での設定と、「MIU」メニューからの設定のうち、最後に設定したものが有効になります。

オプションメニュー

メインメニューのオプションボタン(📖3-38)をクリックすると、オプションメニューが表示されます。



(1) “画像転送モード設定”

“Live Viewer 3” は、キャプチャした PC 画面を JPEG データとして本機に送信しています。この項目では、JPEG データの圧縮率が異なる以下の2つのモードを切り替えて、画質、あるいは画面の更新速度のどちらを優先するかを選択することができます。

“スピード優先”：
JPEG データの圧縮率を高く設定します。画面の更新間隔を短くできますが、画質はやや劣ります。

“画質優先”：
JPEG データの圧縮率を低く設定します。画質を良くできますが、画面の更新間隔が長くなります。

(2) “プレゼンターモード”

“プレゼンターモード” をオン (チェックボックスをオン) にすると、シングル PC モードで本機を使用中、他の PC からの割り込みを防止することができます。初期設定では、オンに設定されています。

(3) “ユーザー名表示”

半角英数記号、最大 20 文字の文字列を、使用中の PC の名前をユーザー名として登録し、本機の投射画面に表示させることができます。初期設定では、ユーザー名は “Unnamed” が登録されています。

登録したユーザー名を画面に表示させるには、“ユーザー名表示” のチェックボックスをオンにしてください。

(4) “カーソルエミュレーション”

ライブモードでの本機の投射画面に、キャプチャされた PC 画面のカーソル、マウスポインタが表示されないときは、“カーソルエミュレーション” をオン (チェックボックスをオン) にしてください。本機の画面に、カーソル、マウスポインタが二重に表示される場合は、“カーソルエミュレーション” をオフにしてください。

お知らせ

●マルチ PC モードではプレゼンターモードの設定が無効になります。
●マルチ PC モードからシングル PC モードに切り替えた場合、表示されている PC のプレゼンターモードの設定が反映されます。
●プレゼンターモードを設定した PC 以外に、本機の「MIU」メニュー（📖**2-34**）－「ライブモード設定」－「プレゼンターモード解除」からプレゼンターモードを解除することができます。
●ユーザー名は、本機の「MIU」メニュー「ライブモード設定」－「ユーザー名表示」（📖**2-35**）からも表示／非表示を設定できます。

4. WEB コントロール 遠隔操作

本機をネットワーク接続すると、ライブモードの他に、ネットワークを経由した、以下の操作、設定が可能です。

■ WEB コントロール

同じネットワークに接続した PC から、Web ブラウザを使って本機を操作、設定できます。
詳細は、「4.1 WEB コントロール」（**3-43**）をご参照ください。

■電子メール機能による自動通知

本機がエラーを検出したときやメンテナンスを必要とするとき、指定されたアドレスへ、電子メールで警告メッセージを自動的に送信することができます。
詳細は、「4.2 電子メール機能による自動通知」（**3-61**）をご参照ください。

■ SNMP による自動通知

本機は SNMP（Simple Network Management Protocol）に対応しており、SNMP マネージャを使用してエラー／警告メッセージを受け取ることができます。
詳細は、「4.3 SNMP による自動通知」（**3-62**）をご参照ください。

■スケジュール設定

起動や画像の表示など、本機の操作を、日時を指定して自動的に実行させることができます。
詳細は、「4.4 スケジュール設定」（**3-63**）をご参照ください。

■マイ イメージ

静止画像（マイ イメージ）をネットワーク経由で本機に転送し、転送し、記録メディアに保存、また、本機の画面に表示させることができます。
詳細は、「4.5 マイ イメージ」（**3-64**）をご参照ください。

■ RS-232C コマンド制御

ネットワーク経由で RS-232C 通信コマンドを送信し、本機の操作、設定ができます。
詳細は、「4.6 ネットワークからのコマンド制御」（**3-65**）をご参照ください。

本機のネットワークへの接続については、「2. 機器の接続とネットワーク設定」（**3-7**）をご参照ください。

4.1 WEB コントロール

本機と PC を同じネットワークに接続すると、Web ブラウザを使用して本機の設定、制御をネットワーク経由で行う、WEB コントロールが可能です。
WEB コントロールには、ネットワークにログオンするための ID とパスワードが必要です。ID には、WEB コントロールの全ての項目を設定・操作できる管理者 ID と、一部の機能のみを操作できるユーザー ID の 2 種類があります。管理者 ID、ユーザー ID、およびパスワードの初期設定は下表の通りです。

ID の種類	ID	パスワード
管理者 ID	Administrator	（初期設定では設定されていません）
ユーザー ID	User	（初期設定では設定されていません）

お知らせ

● WEB コントロールには、Internet Explorer 5.5 あるいはそれ以降のバージョンが必要です。
● Web ブラウザの設定で、Java スクリプトを有効にしてください。Java スクリプトが無効になっていると、WEB コントロールのウィンドウが正しく表示できないことがあります。Java スクリプトを有効にする方法については、Web ブラウザのヘルプファイルを参照してください
● Web ブラウザの更新プログラムは、すべて適用しておいてください。Windows XP Service Pack 2 以前の Microsoft Windows を使用している PC で、Internet Explorer を使用して WEB コントロールを行う場合は、セキュリティ更新プログラム Q832894（MS04-004）を必ずインストールしてください。インストールしておかないと、WEB コントロールの画面が正常に表示されないことがあります。また、古いバージョンの Internet Explorer を使用すると、操作開始から 50 秒後に強制的にログアウトする場合があります。

ログオン

WEB コントロールを行うためには、以下の手順にしたがって、本機と同じネットワーク上にある PC からネットワークにログオンしてください。

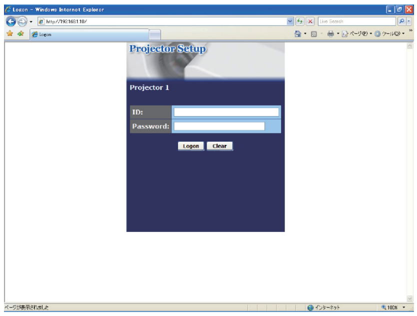
1）Web ブラウザを起動して、アドレスバーに以下の URL を入力し、[→] ボタンをクリックしてください。

URL　http://(本機の IP アドレス)/

例：本機の IP アドレスが“192.168.1.10”の場合

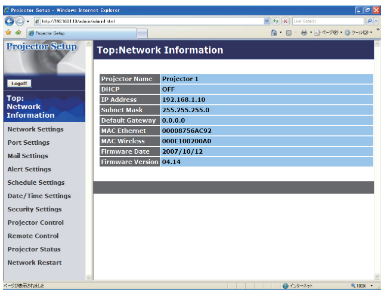
URL　http://192.168.1.10/

右のログオンウィンドウが表示されます。

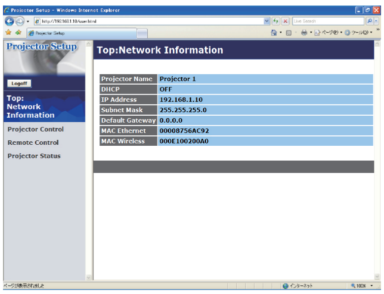


ログオンウインドウ

2）ID とパスワードを入力して、[Logon] ボタンをクリックします。
ログオンが成功すると、ログオンしたときの ID の種類によって、下の、どちらかのウィンドウが表示されます。



管理者 ID でログオンした場合



ユーザー ID でログオンした場合

WEB コントロールのメインメニュー

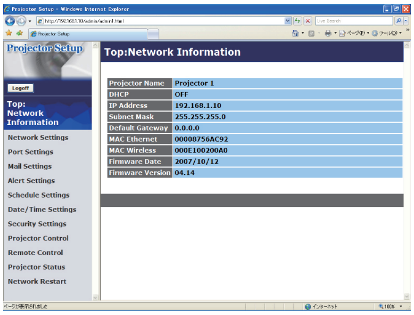
ログオンが成功すると表示されるウィンドウの左側には、WEB コントロールのメインメニューが表示されます。表示されるメインメニューの項目数、およびメニュー項目の中の設定項目数は、管理者 ID でログオンしたか、ユーザー ID でログオンしたかによって異なります。
管理者 ID とユーザー ID での、表示・操作できるメインメニューの項目は、下表の通りです。

メインメニュー項目	説　明	管理者 ID	ユーザー ID
Network Information	本機の現在のネットワーク設定を表示します。	○	△
Network Settings	ネットワーク接続の設定を行います。	○	×
Port Settings	通信ポートの設定を行います。	○	×
Mail Settings	電子メール機能の設定を行います。	○	×
Alert Settings	エラー／警告の自動通知を設定します。	○	×
Schedule Settings	スケジュールの設定を行います。	○	×
Date/Time Settings	日時の設定を行います。	○	×
Security Settings	セキュリティの設定を行います。	○	×
Projector Control	本機を遠隔操作します。	○	△
Remote Control	WEB リモコン 本機付属のリモコンのイメージで本機を操作します。	○	○
Projector Status	現在の本機の状態を表示します。	○	○
Network Restart	本機のネットワーク接続を再起動します。	○	×

○：表示
△：表示、但し一部の設定項目が非表示
×：非表示

次項以降、メインメニューの操作と項目を説明します。

Network Information（ネットワークの設定情報）



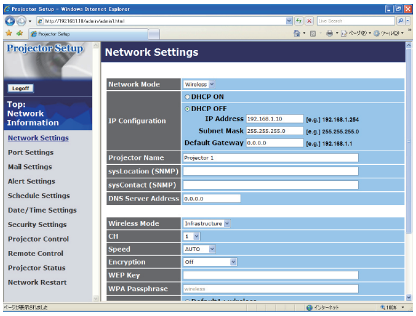
メインメニューの [Network Information] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。
“Network Information”では、本機の現在のネットワークの設定を表示します。

項　目	説　明
Projector Name	本機に登録されたプロジェクター名です。
DHCP	本機の DHCP 設定です。
IP Address	本機の IP アドレスです。
Subnet Mask	本機のサブネットマスクです。
Default Gateway	本機のデフォルトゲートウェイです。
MAC Ethernet	有線 LAN の MAC アドレスです。
MAC Wireless	無線 LAN の MAC アドレスです。
Firmware Date	ネットワークファームウェアのタイムスタンプを表示します。
Firmware Version	ネットワークファームウェアのバージョンを表示します。

お知らせ

●上のウィンドウは、管理者 ID でログオンしたときの例です。
●“MAC Wireless”は、本機のネットワークモードが有線 LAN に設定されているか、ワイヤレスネットワークカードが挿入されていない場合は表示されません。
●“Firmware Date”、“Firmware Version”は、ユーザー ID でログオンした場合、表示されません。

Network Settings（ネットワーク設定）



メインメニューの [Network Settings] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。ユーザー ID でログオンした場合、この項目は表示されません。
“Network Settings” では、ネットワーク接続の設定を行います。設定が終わったら [Apply] ボタンをクリックして保存してください。

項　目	説　明
Network Mode	“Wired”（有線 LAN) または “Wireless”（無線 LAN）のいずれかのネットワークモードを選択します。
IP Configuration	ネットワークの設定を行います。
DHCP ON	DHCP を有効にします。
DHCP OFF	DHCP を無効にします。
IP Address	DHCP を無効にしたときの IP アドレスを設定します。
Subnet Mask	DHCP を無効にしたときのサブネットマスクを設定します。
Default Gateway	DHCP を無効にしたときのデフォルトゲートウェイを設定します。
Projector Name	プロジェクター名を設定します。 半角 64 文字まで設定できます。使用できるのは、半角の、英数字、スペース、および以下の記号のみです。 !"#$%&'()*+,-./:;<=>?@ [\]^_`{|}~
sysLocation (SNMP)	SNMP 使用時に参照する設定場所情報を入力します。 半角英数字で 255 文字まで入力できます。
sysContact (SNMP)	SNMP 使用時に参照する連絡先情報を入力します。 半角英数字で 255 文字まで入力できます。
DNS Server Address	DNS サーバーのアドレスを設定します。

<table>
<tr><th>項　目</th><th>説　明</th></tr>
<tr><td>Wireless Mode</td><td>無線 LAN の接続制御方式を、“AD-HOC”モード、または“Infrastructure”モードから選択します。</td></tr>
<tr><td>CH
(Communication channel)</td><td>無線 LAN で使用するチャンネル（1 ～ 11）を選択します。</td></tr>
<tr><td>Speed
(Communication speed)</td><td>無線 LAN の通信速度を設定します。</td></tr>
<tr><td>Encryption</td><td>データの暗号方式を設定します。</td></tr>
<tr><td>WEP Key</td><td>WEP キーを入力します。
“64bit”の場合は半角 10 文字まで、“128 bit”の場合は半角 26 文字まで入力できます。使用できるのは、半角数字と“a”～“f”のアルファベット（大文字小文字不問）のみです。入力文字数が偶数になるように設定してください。入力文字数が奇数の場合、設定は全て 0 にクリアされます。</td></tr>
<tr><td>WPA Passphrase</td><td>WPA パスフレーズを入力します。
半角 8 ～ 63 文字で入力します。使用できるのは、半角の、英数字、スペース、および以下の記号のみです。
!"#$%&'()*+,-./:;<=>?@ [\]^_`{|}~</td></tr>
<tr><td>SSID</td><td>SSID を選択します。リストにない SSID を使用する場合は、“Custom”を選択し、入力ボックスに使用する SSID を入力してください。半角で 32 文字まで入力できます。使用できるのは、半角の、英数字、スペース、および以下の記号のみです。
!"#$%&'()*+,-./:;<=>?@ [\]^_`{|}~</td></tr>
</table>

お知らせ

●新しい設定は、ネットワーク接続を再起動した後に有効になります。設定を変更したら、ネットワーク接続を再起動してください（📖3-60）。

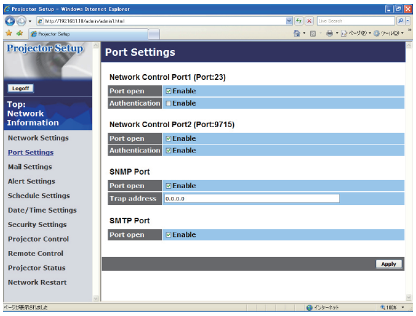
●本機を既存のネットワークに接続する場合は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。

●“WEP Key”、“WPA passphrase“ および“SSID“に、使用不可能な文字が使用された場合は、設定できません。

お守りください

●ワイヤレスネットワークカードは、日本国内でのみ、ご使用になれます。国外に持ち出すと、その国の電波法に抵触する恐れがあります。

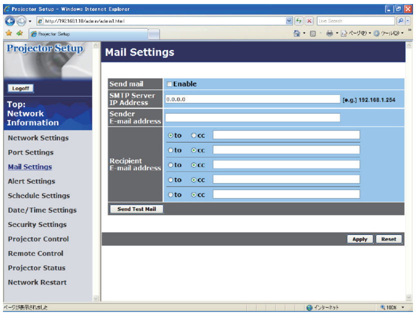
Port Settings（ポート設定）



メインメニューの [Port Settings] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。ユーザー ID でログオンした場合、この項目は表示されません。
“Port Settings” では、通信ポートの設定を行います。
設定が終わったら [Apply] ボタンをクリックして保存してください。

項　目		説　明
Network Control Port1 (Port:23)		コマンド制御ポート１（TCP #23）を設定します。
	Port open	Port:23 を使用するには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
	Authentication	このポートで認証を使用する場合は、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Network Control Port2 (Port:9715)		コマンド制御ポート２（TCP #9715）を設定します。
	Port open	Port:9715 を使用するには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
	Authentication	このポートで認証を使用する場合は、[Enable] チェックボックスをオンにします。
SNMP Port		SNMP ポートを設定します。
	Port open	SNMP を使用するには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
	Trap address	SNMP トラップの宛先の IP アドレスを設定します。 ネットワークの設定に有効なＤＮＳサーバーがある場合、IP アドレスだけでなく、ドメイン名も利用できます。 ホストまたはドメイン名は最大 255 文字まで入力することができます。
SMTP Port		SMTP ポートを設定します。
	Port open	電子メール機能を使用するには、[Enable] チェックボックスをオンにします。

Mail Settings（メール設定）



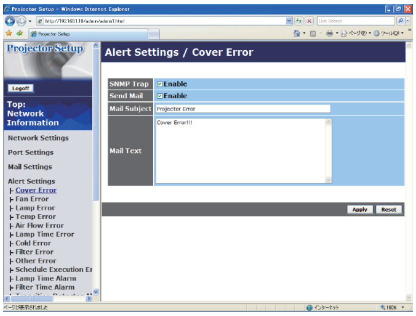
メインメニューの [Mail Settings] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。ユーザー ID でログオンした場合、この項目は表示されません。
“Mail Settings”では、電子メール機能の設定を行います。
設定が終わったら [Apply] ボタンをクリックして保存してください。

項　目	説　明
Send mail	電子メール機能を使用するには、[Enable] チェックボックスをオンにします。 電子メールの送信条件を [Alert Settings] フィールドで設定します。
SMTP Server IP Address	メールサーバーの IP アドレスを設定します。 ネットワークの設定に有効なＤＮＳサーバーがある場合、IP アドレスだけでなく、ドメイン名も利用できます。 ホストまたはドメイン名は最大 255 文字まで入力することができます。
Sender E-mail address	送信者の電子メールアドレスを設定します。 送信者の電子メールアドレスの長さは、半角で 255 文字まで入ります。
Recipient E-mail address	受信者（最大 5 名）の電子メールアドレスを設定します。 各アドレスの [TO] または [CC] を指定することもできます。受信者の電子メールアドレスは、半角で 255 文字まで入ります。
Send Test Mail	ボタンをクリックすると、“Recipient E-mail address”で設定したアドレスに、テストメールを送信します。

お知らせ

●メール設定が正しく機能するかどうかは、[Send Test Mail] ボタンをクリックして確認できます。[Send Test Mail] ボタンをクリックする前に、“Send mail”の [Enable] チェックボックスをオンにしてください。
●本機を既存のネットワークに接続する場合は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。

Alert Settings（自動通知設定）



メインメニューの [Alert Settings] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。ユーザー ID でログオンした場合、この項目は表示されません。
“Alert Settings” では、エラー／警告の自動通知を設定します。[Alert Settings] の下に表示される、各エラー／警告通知項目を選択し、通知の設定を行ってください。
設定が終わったら [Apply] ボタンをクリックして保存してください。

■エラー／警告通知項目

項　目	エラー／警告内容
Cover Error	ランプカバーがきちんと固定されていません。
Fan Error	冷却ファンが動作していません。
Lamp Error	ランプが点灯しません。ランプ、および本機内部が高温になっている可能性があります。
Temp Error	本機内部が高温になっている可能性があります。
Air Flow Error	内部の温度が上がっています。エアーフィルターが目詰まりしている可能性があります。
Lamp Time Error	ランプの使用時間が交換設定時間を超えました。
Cold Error	本機の内部温度が低すぎる可能性があります。
Filter Erro	エアーフィルターの使用時間が通知設定時間を超えました。
Other Error	その他のエラーが発生しました。
Schedule Execution Error	設定されたスケジュールを正常に実行できませんでした（📖**3-63**）。
Lamp Time Alarm	ランプの使用時間が“Alarm Time”の設定時間に達しました。
Filter Time Alarm	エアーフィルターの使用時間が“Alarm Time”の設定時間に達しました。
Transition Detector Alarm	状態監視機能が異常を検知しました。状態監視機能については、【応用編】「その他」メニュー（📖**2-21**）の「セキュリティ」（📖**2-27**）－「状態監視」（📖**2-30**）をご参照ください。
Cold Start	電源スイッチが入りました。（電源オフ→スタンバイ）
Authentication Failure	未認証の SNMP コミュニティからの SNMP アクセスがありました。

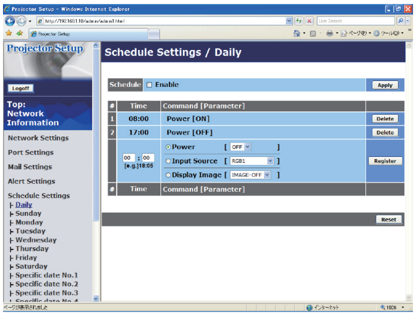
■通知設定

項　目	説　明
Alarm Time	“Lamp Time Alarm”、または “Filter Time Alarm” を通知する時間を設定します。
SNMP Trap	この項目の SNMP トラップによる自動通知を有効にするには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Send Mail	この項目の電子メール機能による自動通知を有効にするには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Mail Subject	送信する電子メールの件名を設定します。 半角で 100 文字まで設定できます。
Mail Text	送信する電子メールの本文を設定します。 半角で 1024 文字まで設定できます。

お知らせ

● “Schedule Execution Error” を除くエラーの詳細については、【応用編】「故障かなと思ったら」（📖**2-44 ～ 50**）をご参照ください。
● “Other Error” が発生した（通知された）場合は、販売店にご連絡ください。
● “Filter Error” を通知する時間は、「その他」メニュー（📖**2-21**）の「特別な設定」（📖**2-24**）－「フィルター掃除通知」（📖**2-25**）で設定してください。「フィルター掃除通知」が「無効」に設定されている場合は、このエラーは通知されません。
● “Lamp Time Error” を通知する時間は変更できません。このエラー通知を受け取った場合は、すみやかにランプを交換してください。ランプ交換については、【基本編】「ランプを交換する」（📖**1-33, 34**）をお読みください。
● “Cold Start” と “Authentication Failure” は、SNMP トラップでの自動通知のみ可能です。

Schedule Settings（スケジュール設定）



メインメニューの [Schedule Settings] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。ユーザー ID でログオンした場合、この項目は表示されません。
“Schedule Settings”では、スケジュールの設定を行います。[Schedule Settings] の下に表示される、各スケジュールの日程を選択し、それぞれのスケジュールの日時と実行するイベントを設定してください。
すでに設定されているスケジュールがある場合は、リストに表示されます。設定した新しいイベントを追加するには、[Register] ボタンをクリックします。イベントを削除するには [Delete] ボタンを、リストに表示されたすべてのイベントを削除するには [Reset] ボタンをクリックします。
設定が終わったら [Apply] ボタンをクリックして保存してください。

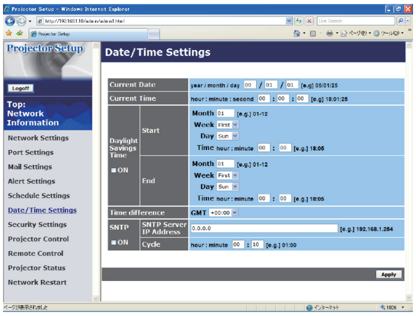
■スケジュールの日程

項　目	説　明
Daily	毎日実行されるスケジュールを設定します。
Sunday	毎週日曜日に実行されるスケジュールを設定します。
Monday	毎週月曜日に実行されるスケジュールを設定します。
Tuesday	毎週火曜日に実行されるスケジュールを設定します。
Wednesday	毎週水曜日に実行されるスケジュールを設定します。
Thursday	毎週木曜日に実行されるスケジュールを設定します。
Friday	毎週金曜日に実行されるスケジュールを設定します。
Saturday	毎週土曜日に実行されるスケジュールを設定します。
Specific date No.1	特定日（No.1）のスケジュールを設定します。
Specific date No.2	特定日（No.2）のスケジュールを設定します。
Specific date No.3	特定日（No.3）のスケジュールを設定します。
Specific date No.4	特定日（No.4）のスケジュールを設定します。
Specific date No.5	特定日（No.5）のスケジュールを設定します。

■日時とイベント設定

項　目		説　明
Schedule		設定したスケジュールを有効にするには、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Date(Month/Day)		イベントを実行する日を月 / 日の形式で設定します。 特定日のスケジュールを設定する場合のみ表示されます。
Time		イベントを実行する時間を時 : 分の形式で設定します。
Command [Parameter]		実行するイベントを設定します。
	Power	パワー オン／オフを設定します。
	Input Source	映像入力信号を設定します。
	Display Image	マイ イメージ（📖3-64）を表示します。

Date/Time Settings（日付／時刻設定）



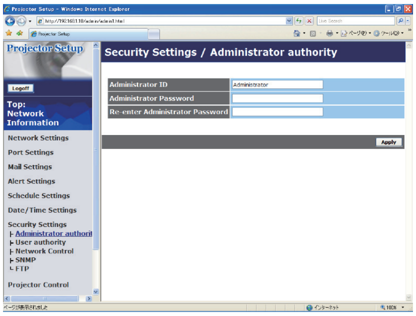
メインメニューの [Date/Time Settings] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。ユーザー ID でログオンした場合、この項目は表示されません。
“Date/Time Settings” では、日時の設定を行います。
設定が終わったら [Apply] ボタンをクリックして保存してください。

項　目			説　明
Current Date			年 / 月 / 日の形式で本日の日付を設定します。
Current Time			時 : 分 : 秒の形式で現在時刻を設定します。
Daylight Savings Time			夏時間を有効にするには、[ON] チェックボックスをオンにします。
	Start		夏時間を開始する日時を設定します。
		Month	夏時間を開始する月（1 ～ 12）を設定します。
		Week	夏時間を開始する日がその月で何週目か（First、2、3、4、Last）を設定します。
		Day	夏時間を開始する日の曜日（Sun、Mon、Tue、Wed、Thu、Fri、Sat）を設定します。
		Time hour	夏時間を開始する “時”（0 ～ 23）を設定します。
		Time minute	夏時間を開始する “分”（0 ～ 59）を設定します。
	End		夏時間を終了する日時を設定します。
		Month	夏時間を終了する月（1 ～ 12）を設定します。
		Week	夏時間を終了する日が、その月で何週目か（First、2、3、4、Last）を設定します。
		Day	夏時間を終了する日の曜日（Sun、Mon、Tue、Wed、Thu、Fri、Sat）を設定します。
		Time hour	夏時間を終了する “時”（0 ～ 23）を設定します。
		Time minute	夏時間を終了する “分”（0 ～ 59）を設定します。
Time difference			グリニッジ標準時に対する時差（時 : 分）を設定します。 PC の設定と同じ時差を設定してください。不明な場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
SNTP			SNTP サーバーを使って日時を自動的に設定する場合は、チェックボックスをオンにします。
	SNTP Server IP Address		SNTP サーバーの IP アドレスを設定します。
	Cycle		SNTP サーバーから日時の情報を受け取る間隔（時 : 分）を設定します。

お知らせ

●本機を既存のネットワークに接続する場合は、事前にネットワーク管理者にご相談ください。
● SNTP 機能を設定する前に、時差を設定してください。
● SNTP 機能を有効に設定すると、Time Server から日時の情報を取得し、設定を上書きします。
●内蔵時計の時間はずれてくる場合があります。正確な時間を維持するためには、SNTP を使用することをお勧めいたします。
●強い衝撃を受けると、設定された日時がくるう場合がありますのでご注意ください。

Security Settings（セキュリティ設定）



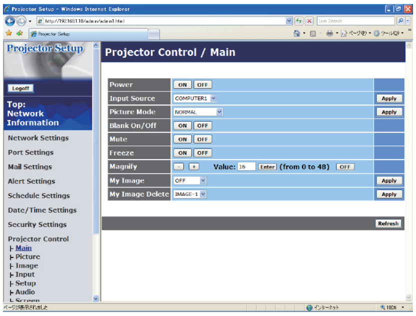
メインメニューの [Security Settings] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。ユーザー ID でログオンした場合、この項目は表示されません。
“Security Settings” では、通信に関わるセキュリティの設定を行います。[Security Settings] の下に表示される、各セキュリティ設定項目を選択し、それぞれの ID、パスワードなどを設定してください。
設定が終わったら [Apply] ボタンをクリックして保存してください。

項　目		説　明
Administrator authority		管理者 ID とパスワードを設定します。
	Administrator ID	管理者 ID を設定します。半角英数字で 32 文字まで設定できます。
	Administrator Password	管理者パスワードを設定します。 半角英数字で 255 文字まで設定できます。
	Re-enter Administrator Password	確認のために、上記のパスワードを再入力してください。
User authority		ユーザー ID とパスワードを設定します。
	User ID	ユーザー ID を設定します。半角英数字で 32 文字まで設定できます。
	User Password	ユーザーパスワードを設定します。半角英数字で 255 文字まで設定できます。
	Re-enter User Password	確認のために、上記のパスワードを再入力してください。
Network Control		コマンド制御の認証パスワードを設定します。
	Authentication Password	認証パスワードを設定します。 半角英数字で 32 文字まで設定できます。
	Re-enter Authentication Password	確認のために、上記のパスワードを再入力してください。
SNMP		SNMP 使用時のコミュニティ名を設定します。
	Community name	コミュニティ名を設定します。 半角英数字で 64 文字まで設定できます。
FTP		FTP で使用するユーザー名とパスワードを設定します。
	User	ユーザー名を設定します。半角英数字で 32 文字まで設定できます。
	Password	パスワードを設定します。半角英数字で 32 文字まで設定できます。
	Re-enter Password	確認のために、上記のパスワードを再入力してください。

お知らせ

● “Network Control” で設定したコマンド制御の認証パスワードは、コマンド制御ポート 1、2（📖**3-48**）で共通となります。

Projector Control（プロジェクター制御）



メインメニューの [Projector Control] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。
“Projector Control” では、本機をネットワーク経由で遠隔操作することができます。[Projector Control] の下に表示される、各操作分類項目を選択し、それぞれの操作項目を選択して設定してください。
“Main” 項目の内容詳細については【基本編】、および【応用編】「MIU」メニュー－「マイ イメージ」（📖2-41）を、“Picture” ～ “Option” 項目の内容詳細については【応用編】をご参照ください。

項　目		説　明
Main		
	Power	本機の電源 (パワー) をオン／オフします。
	Input Source	入力信号を切り替えます。 設定を変更したら、[Apply] ボタンをクリックしてください。
	Picture Mode	映像モードを選択します。 設定を変更したら、[Apply] ボタンをクリックしてください。
	Blank On/Off	ブランク画面の表示／非表示 (通常画面) を設定します。
	Mute	音声ミュート (消音) のオン／オフを設定します。
	Freeze	映像の静止／静止解除を設定します。
	Magnify	画面を拡大します。[＋] / [－] ボタンで拡大率を調節してください。 入力信号によっては、設定値が最大となる前に画面の拡大が止まります。設定値を変更したら、[Enter] ボタンをクリックしてください。[OFF] ボタンをクリックすると、画面の拡大を終了します。
	My Image	表示するマイ イメージの画像ファイルを選択します。 設定を変更したら、[Apply] ボタンをクリックしてください。
	My Image Delete	マイ イメージの画像ファイルを削除します。 設定を変更したら、[Apply] ボタンをクリックしてください。
Picture		設定を変更したら、[Enter] もしくは [Apply] ボタンをクリックしてください。
	Brightness	明るさを調節します。
	Contrast	コントラストを調節します。
	Gamma	画面のガンマ設定を調節します。 [Edit] ボタンをクリックすると、カスタム設定画面を表示します。
	Color Temp	画面の色温度設定を調節します。 [Edit] ボタンをクリックすると、カスタム設定画面を表示します。
	Color	色の濃さを調節します。
	Tint	色あいを調節します。
	Sharpness	画質を調節します。
	Active Iris	アクティブアイリス（レンズ絞り）の設定を選択します。
	MyMemory Save	現在の設定をマイメモリー（1 ～ 4）に保存します。
	MyMemory Recall	マイメモリー（1 ～ 4）に保存された設定をロードします。

項　目		説　明
Image		設定を変更したら、[Enter] もしくは [Apply] ボタンをクリックしてください。
	Aspect	アスペクト（画面の縦横比）を選択します。
	Over Scan	画面のオーバースキャンを設定します。
	V Position H Position	画面の垂直位置、および水平位置を調節します。
	H Phase	画面のクロック位相を調節します。
	H Size	画面の水平サイズを調節します。
	Auto Adjust Execute	ボタンをクリックすると、画面の自動調整を実行します。
Input		設定を変更したら、[Apply] ボタンをクリックしてください。
	Progressive	プログレッシブモードを選択します。
	Video NR	映像ノイズの低減レベルを選択します。
	3D-YCS	3 次元 YC 分離の設定を選択します。
	Color Space	色空間モードを選択します。
	Component	COMPONENT(Y, C_B/P_B, C_R/P_R) 端子、および VIDEO 端子の機能を選択します。
	C-Video Format	ビデオ信号のフォーマットを選択します。
	S-Video Format	S- ビデオ信号のフォーマットを選択します。
	HDMI	HDMI 信号モードを選択します。
	Frame Lock-RGB1	RGB1 のフレームロックを有効／無効にします。
	Frame Lock-RGB2	RGB2 のフレームロックを有効／無効にします。
	Frame Lock-HDMI	HDMI のフレームロックを有効／無効にします。
	RGB in-1	RGB1 の SYNC ON G 信号受信モードを選択します。
	RGB in-2	RGB2 の SYNC ON G 信号受信モードを選択します。
Setup		設定を変更したら、[Enter] もしくは [Apply] ボタンをクリックしてください。
	Auto Keystone Execute	ボタンをクリックすると、垂直方向のキーストン (台形歪み) 補正の自動調整を実行します。
	Keystone V	垂直方向のキーストン補正量を調節します。
	Keystone H	水平方向のキーストン補正量を調節します。
	Whisper	ファン速度の静音モードを選択します。
	Mirror	画面の反転表示モードを選択します。
	Monitor Out-RGB1	RGB1 選択時に RGB OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
	Monitor Out-RGB2	RGB2 選択時に RGB OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
	Monitor Out-HDMI	HDMI 選択時に RGB OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
	Monitor Out-MIU	MIU 選択時に RGB OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
	Monitor Out-Component	COMPONENT 選択時に RGB OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
	Monitor Out-S-Video	S-VIDEO 選択時に RGB OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
	Monitor Out-Video	VIDEO 選択時に RGB OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。
	Monitor Out-Standby	スタンバイ時に RGB OUT 端子から出力される信号の入力端子を設定します。

項　目		説　明
Audio		設定を変更したら、[Apply] ボタンをクリックしてください。
	Volume	音量を調節します。
	Treble	音声の高音域を調節します。
	Bass	音声の低音域を調節します。
	SRS WOW	SRS WOW のモードを設定します。
	Speaker	内蔵スピーカーからの音声出力の有効／無効を設定します。
	Audio-RGB1	RGB1 と連動する音声入力端子を設定します。
	Audio-RGB2	RGB2 と連動する音声入力端子を設定します。
	Audio-HDMI	HDMI と連動する音声入力端子を設定します。
	Audio-MIU	MIU と連動する音声入力端子を設定します。
	Audio-Component	COMPONENT と連動する音声入力端子を設定します。
	Audio-S-Video	S-VIDEO と連動する音声入力端子を設定します。
	Audio-Video	VIDEO と連動する音声入力端子を設定します。
	Audio Out-Standby	スタンバイ時に AUDIO OUT 端子から出力される音声入力端子を設定します。
	HDMI Audio	HDMI Audio の設定を選択します。
Screen		設定を変更したら、[Enter] もしくは [Apply] ボタンをクリックしてください。
	Language	本機のメニューなど、画面の表記言語を選択します。
	Menu Position V Menu Position H	メニューの垂直位置、および水平位置を調節します。
	Blank	ブランク画面を選択します。
	Startup	初期画面を選択します。
	MyScreen Lock	マイスクリーンの上書き防止機能をオン／オフします。
	Message	メッセージモードを選択します。
	Template	テンプレート画面のパターンを選択します。

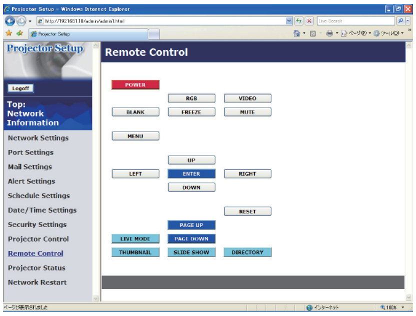
項　目		説　明
Option		設定を変更したら、[Enter] もしくは [Apply] ボタンをクリックしてください。
	Auto Search	入力信号の自動検索機能の有効／無効を設定します。
	Auto Keystone	オートキーストン機能の有効／無効を設定します。
	Auto on	オートオン機能の有効／無効を設定します。
	Auto off	オートオフの実行時間を設定します。
	My Button-1	リモコンの My Button 1 に割り付ける機能を選択します。
	My Button-2	リモコンの My Button 2 に割り付ける機能を選択します。
	My Source	リモコンのMY SOURCE/DOC.CAMERA ボタンに割り付ける信号の入力端子を設定します。
	Remote Receiv. Front	本機前面のリモコン受光部の有効／無効を設定します。
	Remote Receiv. Rear	本機背面のリモコン受光部の有効／無効を設定します。
	Remote Receiv. Top	本機上面のリモコン受光部の有効／無効を設定します。
	Remote Freq. Normal	リモコン受光周波数“標準”の有効／無効を設定します。
	Remote Freq. High	リモコン受光周波数“高”の有効／無効を設定します。
Closed Caption		設定を変更したら、[Apply] ボタンをクリックしてください。
	Display	クローズドキャプションの表示設定を選択します。
	Mode	クローズドキャプションの表示モードを選択します。
	Channel	クローズドキャプションの言語チャンネルを選択します。
Service		
	Quit Presenter Mode	ボタンをクリックすると、プレゼンターモード（📖**3-41**）を強制終了します。

お知らせ

● WEB コントロール使用中に、本機のメニューやリモコンで設定を変更した場合、ウィンドウの表示と実際の設定が一致しないことがあります。その場合には [Refresh] ボタンをクリックして本機の設定を再読込みしてください。

●“Sevice”は、ユーザー ID でログオンした場合、表示されません。

Remote Control（WEB リモコン）



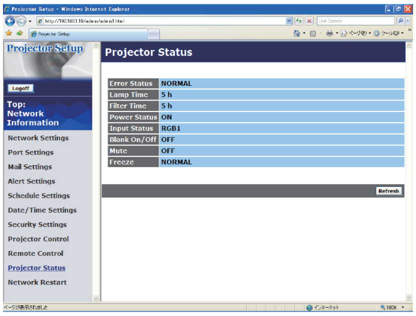
メインメニューの [Remote control] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。
“Remote control”（WEB リモコン) では、本機付属のリモコンのイメージで本機を操作できます。
WEB リモコンの各ボタンは、本機付属のリモコンの各ボタン、および PC レス プレゼンテーションメニューと同様に動作します。

項　目	説　明
POWER	STANDBY/ON ボタンと同様に動作します。
RGB	RGB ボタンと同様に動作します。
VIDEO	VIDEO ボタンと同様に動作します。
BLANK	BLANK ボタンと同様に動作します。
FREEZE	FREEZE ボタンと同様に動作します。
MUTE	MUTE ボタンと同様に動作します。
MENU	MENU ボタンと同様に動作します。
UP	▲ボタンと同様に動作します。
DOWN	▼ボタンと同様に動作します。
LEFT	◀ボタンと同様に動作します。
RIGHT	▶ボタンと同様に動作します。
ENTER	ENTER ボタンと同様に動作します。
RESET	RESET ボタンと同様に動作します。
PAGE UP	PAGE UP ボタンと同様に動作します。
PAGE DOWN	PAGE DOWN ボタンと同様に動作します。
LIVE MODE	本機をライブモードに設定します。
THUMBNAIL	PC レス プレゼンテーションをサムネイルモードで開始します。
SLIDE SHOW	PC レス プレゼンテーションをスライドショーモードで開始します。
DIRECTORY	PC レス プレゼンテーションをディレクトリモードで開始します。

お知らせ

●本機付属のリモコンと WEB リモコンを同時に使用して本機を操作しないでください。同時に使用すると、誤動作するおそれがあります。
● WEB リモコンのボタンを押したままにしても、コマンドを連続して送ることはできません。押したままにする代わりにボタンを繰り返しクリックする必要があります。
●ボタンを連続してクリックすると、一部のコマンドが正常に送信されないことがあります。少し間をおいて再度クリックしてください。
● [POWER] ボタンをクリックすると、本機の電源を切る確認メッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックして本機の電源を切るか、[Cancel] ボタンをクリックして元の状態に戻してください。
● WEB リモコンで、簡易マウス／キーボード機能（📖**1-24**）の操作はできません。

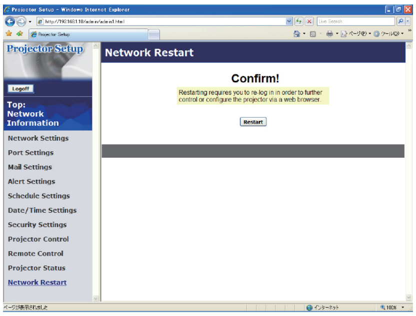
Projector Status（プロジェクターステータス）



メインメニューの [Projector Status] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。
“Projector Status”では、現在の本機の状態を表示します。

項　目	説　明
Error Status	現在起きているエラー状態を表示します。
Lamp Time	現在使用中のランプの使用時間を表示します。
Filter Time	現在使用中のエアーフィルターの使用時間を表示します。
Power Status	現在の電源状態 (入／切) を表示します。
Input Status	現在選択されている映像入力端子を表示します。
Blank On/Off	ブランク画面の表示／非表示 (通常画面) の状態を表示します。
Mute	現在の音声ミュート (消音) のオン／オフの状態を表示します。
Freeze	現在の映像の静止／静止解除の設定を表示します。

Network Restart（ネットワークリスタート）



メインメニューの [Network Restart] をクリックすると、左のウィンドウが表示されます。ユーザー ID でログオンした場合、この項目は表示されません。
“Network Restart”では、本機のネットワーク接続を再起動します。
ネットワーク接続を再起動し、新しい設定を有効にするには、[Restart] ボタンをクリックしてください。

お知らせ

●ネットワーク接続を再起動した後、再び Web ブラウザで本機を調整、または設定を変更するには、再起動して 10 秒以上経ってから再度ログオンする必要があります。
● DHCP がオンに設定されている場合､ネットワークの再起動後にログオンメニューが表示されます。

Logoff（ログオフ）

メインメニューの [Logoff] ボタンをクリックすると、ネットワークからログオフし、ログオンウィンドウ（📖**3-43**）が表示されます。

4.2 電子メール機能による自動通知

本機のメンテナンスが必要な場合やエラー発生時に、指定のアドレスに、本機からエラー／警告の電子メールを自動送信させることができます。
電子メール機能を使用して、本機のエラー／警告を自動通知するには、以下の手順にしたがって設定を行ってください。

1) Web ブラウザから、管理者 ID でネットワークにログオンします（📖**3-43**）。
2) WEB コントロールのメインメニューで [Port Settings] をクリックします。
3) “SMTP Port”の“Port open”[Enable] チェックボックスをオンにして SMTP ポートを有効にします（📖**3-48**）。
4) [Apply] ボタンをクリックして、設定を保存します。
5) メインメニューで [Mail Settings] をクリックします。
6) “Send mail”の [Enable] チェックボックスをオンし、メールサーバーの IP アドレス、送信者／受信者の電子メールアドレスを設定します（📖**3-49**）。
7) [Apply] ボタンをクリックして、設定を保存します。
8) 電子メールの設定が正しいことを確認して、[Send Test Mail] ボタンをクリックしてください。メール設定が正しく機能すれば、次のようなメールが、指定されたアドレスに送信されます。

    表題　　: Test Mail ＜プロジェクター名＞
    本文　　: Send Test Mail
    Date　　＜テスト実施日＞
    Time　　＜テスト実施時間＞
    IP Address　　＜本機の IP アドレス ＞
    MAC Address　＜本機の MAC アドレス ＞

9) メインメニューで [Alert Settings] をクリックします。
10) 通知設定する各エラー／警告項目を選択します（📖**3-50**）。
11) “Send Mail”の [Enable] チェックボックスをオンにし、電子メールの件名と本文を入力します（📖**3-51**）。必要に応じて“Alarm Time”も設定します。
12) [Apply] ボタンをクリックして、設定を保存します。

エラー／警告メッセージは、次のような形式の電子メールで送信されます。

表題　　: ＜メールの件名＞ ＜プロジェクター名＞
本文　　: ＜メールの本文＞
Date　　＜エラー／警告の発生日＞
Time　　＜エラー／警告の発生時間＞
IP Address　　＜本機の IP アドレス＞
MAC Address　＜本機の MAC アドレス＞

お知らせ

●最大 5 つの受信電子メールアドレスを設定できます。
●本機の電源が突然切れた場合は、電子メールを送信できないことがあります。

MIU 編

4.3 SNMP による自動通知

SNMP を使えるネットワーク環境であれば、SNMP マネージャを使って本機のエラー／警告の通知を受け取ることができます。
SNMP を使用して、本機のエラー／警告を自動通知するには、以下の手順にしたがって設定を行ってください。

1) Web ブラウザから、管理者 ID でネットワークにログオンします（📖**3-43**）。
2) WEB コントロールのメインメニューで [Port Settings] をクリックします。
3) “SNMP Port” の “Port open” [Enable] チェックボックスをオンにして SNMP ポートを有効にします。また、SNMP トラップの宛先の IP アドレスを設定します（📖**3-48**）。
4) メインメニューで [Security Settings] をクリックします。
5) [SNMP] をクリックして、コミュニティ名を設定します（📖**3-54**）。
   コミュニティ名は、初期設定では “public” が設定されています。
6) メインメニューで [Alert Settings] をクリックします。
7) 通知設定する各エラー／警告項目を選択します（📖**3-50**）。
8) “SNMP Trap” の [Enable] チェックボックスをオンにします（📖**3-51**）。
9) [Apply] ボタンをクリックして、設定を保存します。

お知らせ

● SNMP 機能の実行はネットワーク管理者が行うことをお勧めいたします。
● SNMP によって本機を監視できるようにするには、SNMP マネージャが PC にインストールされている必要があります。

4.4 スケジュール設定

スケジュール機能を使用して、指定した日時にイベントを自動的に実行させることができます。
スケジュールには 3 つの日程があります。

・Daily（毎日）：指定した操作を指定時刻に毎日実行します。
・Sunday ～ Saturday（曜日）：指定した操作を指定曜日の指定時刻に実行します。
・Specific Date（特定日）：指定した操作を毎年指定日の指定時刻に実行します。

実行できるイベントは、次の 3 種類です。

・本機の電源入／切
・映像入力信号の切り替え
・マイ イメージ（📖3-64）の表示

■日付 / 時刻の設定

スケジュールを設定する前に、以下の手順に従って、本機の日付と時刻を設定してください。

1）Web ブラウザから、管理者 ID でネットワークにログオンします（📖3-43）。
2）WEB コントロールのメインメニューで [Date/Time Settings] をクリックし、日時を設定します。（📖3-52,53）。
3）[Apply] ボタンをクリックして、設定を保存します。

■スケジュール設定

日時と実行するイベントを、以下の手順にしたがって設定してください。

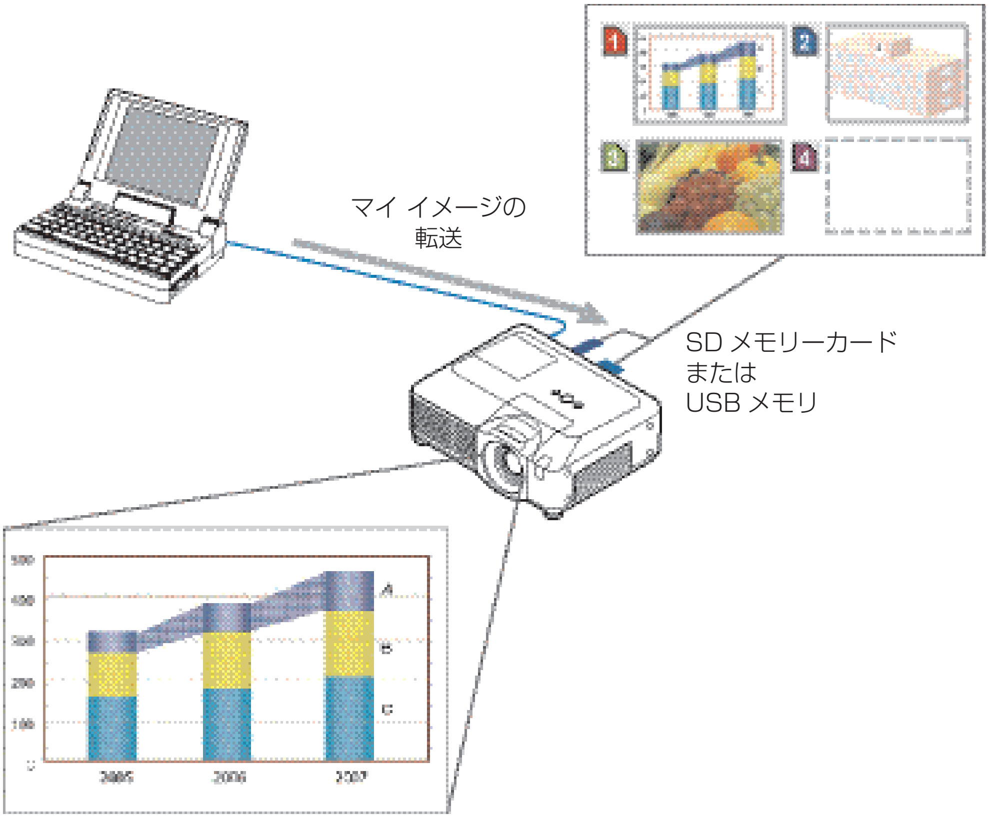
1）Web ブラウザから、管理者 ID でネットワークにログオンします。
2）WEB コントロールのメインメニューで [Schedule Settings] をクリックし、設定するスケジュールの日程を選択します（📖3-52）。
3）[Enable] チェックボックスをオンにしてスケジュールを有効にします。
特定日のスケジュールを設定する場合は、日付（月 / 日）を入力します。
4）スケジュールを実行する時間、イベントを設定し、[Register] ボタンをクリックします。
リストに表示されたスケジュールを削除したい場合は、[Delete] ボタンを、リストに表示されたすべてのイベントを削除するには [Reset] ボタンをクリックします。
5）[Apply] ボタンをクリックして、設定を保存します。

お知らせ

●スケジュール設定したイベントの優先順位は、1) 特定日、2) 曜日、3) 毎日の順になります。
●最大 5 つの特定日をスケジュール設定できます。
●同日の同時刻に複数のイベントを設定した場合、イベントの番号が小さいほど優先順位が高くなります。（例えば、「Specific date No.1」は、「Specific day No.2」以降より優先順位が高くなります。）ただし、電源を入れるイベントは最後に実行されます。
●日付と時間が正しく設定されているのに、時刻設定にエラーが生じる場合、内蔵時計用電池が切れている可能性があります。「内蔵時計用電池の交換」（📖1-37）に従って電池を交換してください。
●内蔵時計の時間はずれてくる場合があります。正確な時間を維持するためには、SNTP を使用することをお勧めします。
●電源を入れるスケジュール設定が 1 つでも有効になっていると、本機がスタンバイ状態のときに POWER インジケータがおよそ 3 秒間周期で緑色に点滅します。
●スケジュール機能を使用するには、本機がスタンバイ状態（📖2-46）か、電源が入っていなければなりません。電源スイッチがオフ（「○」側が押されている）になっていたり、ブレーカーが落ちていると、スケジュール機能は動作しません。

4.5 マイ イメージ

静止画像（マイ イメージ）をネットワーク経由で本機に転送し、記録メディアに保存、また、本機の画面に表示させることができます。



マイ イメージの転送には、PC に専用のソフトウェア、プロジェクターファイル転送ツールをインストールする必要があります。このソフトウェアは日立のホームページからダウンロードできます。

日立ホームページ URL　http://www.hitachi.co.jp/proj/

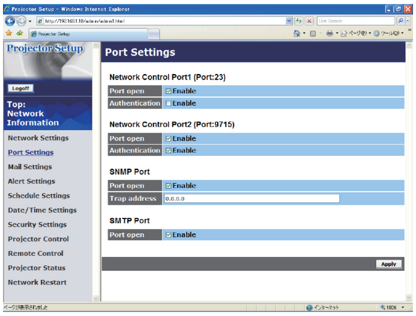
このソフトウェアに関する説明は、ソフトウェアと一緒にダウンロードされるマニュアルを参照してください。

転送された画像を表示するには、「MIU」メニュー（📖**2-34**）の「マイ イメージ」（📖**2-41**）を選択してください。

お知らせ

- JPG、PNG、BMP のファイル形式に対応しています。
- 最大 4 つの画像ファイルを本機に登録することができます。
- マイ イメージ機能で本機に挿入した記録メディアに転送した画像は、スケジュール機能を使用して表示することができます（📖**3-63**）。

4.6 ネットワークからのコマンド制御



RS-232C コマンドを使用し、ネットワークから本機を操作、設定することができます。
コマンド制御には、TCP #23 と TCP #9715 の、2 ポートが割り当てられています。

コマンド制御の設定

ネットワーク経由で本機をコマンド制御するには、以下の手順にしたがって設定を行ってください。

1) Web ブラウザから、管理者 ID でネットワークにログオンします（3-43）。
2) WEB コントロールのメインメニューで [Port Settings] をクリックします。
3) TCP #23 のポートを使用する場合は、“Network Control Port1 (Port: 23)”の“Port open”[Enable] チェックボックスをオンにしてコマンド制御ポート 1 を有効にします（3-48）。
このポートの認証が必要なときには、“Authentication”の [Enable] チェックボックスをオンにします。認証が必要ない場合は、チェックボックスをオフにします。
4) TCP #9715 のポートを使用する場合は、“Network Control Port2 (Port: 9715)”の“Port open”[Enable] チェックボックスをオンにしてコマンド制御ポート 2 を有効にします（3-48）。
このポートの認証が必要なときには、“Authentication”の [Enable] チェックボックスをオンにします。認証が必要ない場合は、チェックボックスをオフにします。
5) [Apply] ボタンをクリックして、設定を保存します。
認証設定を有効にする場合、下記の設定が必要になります。
6) メインメニューで [Security Settings] をクリックします。
7) [Network Control] をクリックして、認証パスワードを入力します（3-54）。
8) [Apply] ボタンをクリックして、設定を保存します。

お知らせ

● “Security Settings”で入力した認証パスワードは、コマンド制御ポート 1、2 に共通となります。
●接続後に 30 秒間通信がなければ、TCP 接続は自動的に切断されます。

コマンド形式

通信ポートによってコマンド形式に一部違いがあります。

■ TCP #23

送信データ形式は、RS-232C コマンドと同じものをそのまま使用できます。
応答データ形式は、RS-232C コマンドと同じですが、認証エラーが発生した場合は、以下の応答が返されます。

＜認証エラー応答＞

応　答	エラーコード	
0x1F	0x04	0x00

■ TCP #9715

送信データ形式は､以下のように RS-232C コマンドにヘッダー(0x02)､データ長(0x0D)､チェックサム（1 バイト)、接続 ID（1 バイト）のデータを付加します。

ヘッダー	データ長	RS-232C コマンド	チェックサム	接続 ID
0x02	0x0D	13 バイト	1 バイト	1 バイト

・ヘッダー　　　　　　→ 0x02、固定
・データ長　　　　　　→ RS-232C コマンドのバイト長（0x0D、固定）
・RS-232C コマンド→ RS-232C コマンド、0xBE 0xEF から始まる 13 バイトのコマンド
・チェックサム　　　　→ ヘッダからチェックサムまでの和の下位 8 ビットが 0 となる値
・接続 ID　　　　　　→ 0 ～ 255 のランダムな値（この数値は応答データに付加されます。）

応答データ形式は、RS-232C コマンドに、接続 ID（送信データの接続 ID と同じ）が加わります。

＜ ACK 応答＞

応　答	接続 ID
0x06	1 バイト

＜ NAK 応答＞

応　答	接続 ID
0x15	1 バイト

＜エラー応答＞

応　答	エラーコード	接続 ID
0x1C	2 バイト	1 バイト

＜データ応答＞

応　答	データ	接続 ID
0x1D	2 バイト	1 バイト

＜ビジー応答＞

応　答	ステータスコード	接続 ID
0x1F	2 バイト	1 バイト

＜認証エラー応答＞

応　答	認証エラーコード		接続 ID
0x1F	0x04	0x00	1 バイト

認証

本機の認証には MD5（Message Digest 5）というアルゴリズムを使用しています。認証機能を有効にして本機をコマンド制御するには、MD5 アルゴリズムで処理した認証データを、送信コマンドの先頭に追加する必要があります。
認証機能が有効のときに、本機とネットワーク接続すると、本機からはランダムな 8 バイトが返されます。これと認証パスワードを結合して MD5 アルゴリズムで処理したものが、認証データです。
認証パスワードが“password”、ランダムな 8 バイトが“a572f60c”である場合の例です。

1) 本機にネットワーク接続し、ランダムな 8 バイト、“a572f60c”を受け取ります。
3) ランダムな 8 バイト“a572f60c”と認証パスワード“password”を結合します。
   結合した値は“a572f60cpassword”となります。
4) 結合した値“a572f60cpassword”を MD5 アルゴリズムで処理します。
   結果、“e3d97429adffa11bce1f7275813d4bde”という値を得ます。
5) “e3d97429adffa11bce1f7275813d4bde”という値をコマンドの先頭に付加し、“e3d97429adffa11bce1f7275813d4bde”＋コマンドというデータを送信します。
6) 送信データが正しければ、コマンドが実行されて応答データが返されます。送信データが正しくない場合、認証エラーが返されます。

お知らせ

● 2 回目以降、同じ接続をする場合、認証データは省略することができます。

5. PC レスプレゼンテーション

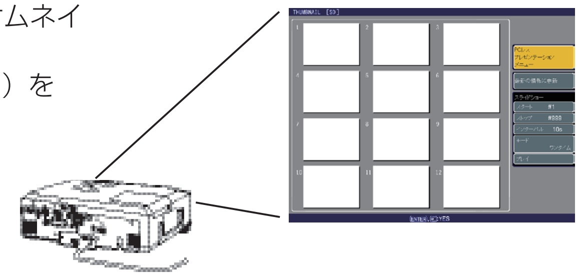
5.1 PC レス プレゼンテーションについて

PC レス プレゼンテーションの表示モード

PC レス プレゼンテーションには以下の 4 つの表示モードがあります。

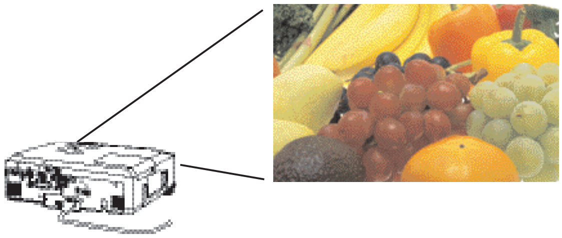
■サムネイルモード

記録メディアに保存された、複数の画像のサムネイル（縮小した画像）を一画面に表示します。
詳細は、「5.2 サムネイルモード」（📖**3-71**）をご参照ください。



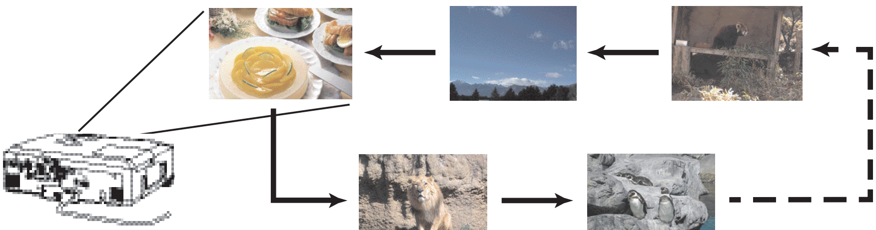
■全画面モード

1 つの画像を画面いっぱいに表示します。
詳細は、「5.3 全画面モード」（📖**3-73**）をご参照ください。



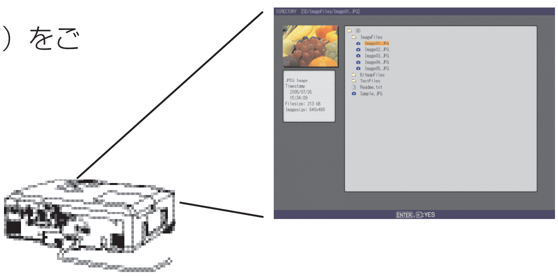
■スライドショーモード

画像を一定間隔で切り替えながら、次々に表示します。
詳細は、「5.4 スライドショーモード」（📖**3-75**）をご参照ください。



■ディレクトリモード

記録メディアに保存されているディレクトリおよびファイルの一覧をツリー表示します。
詳細は、「5.5 ディレクトリモード」（📖**3-77**）をご参照ください。



PC レス プレゼンテーションのご利用手順

PC レス プレゼンテーションを開始する前に、画像・映像ファイルを保存した記録メディアを、SD メモリカードならば本機の SD カードスロットに、USB メモリならば AUX I/O 端子に装着してください。PC レス プレゼンテーションは、WEB リモコン、または本機のメニュー、付属のリモコンの MY BUTTON（「マイボタン」での登録が必要です）から開始することができます。

■ WEB リモコンで開始する

1．本機と PC をネットワークで接続（📖**3-7**）して本機の電源を入れ（📖**1-25**）、PC で Web ブラウザを起動、ネットワークにログオンしてください（📖**3-43**）。
2．WEB コントロールのメインメニューで [Remote Control] をクリックし、WEB リモコンを開いてください。
3．ご利用になる表示モードに合わせ、サムネイルモードならば [THUMBNAIL]、スライドショーモードならば [SLIDE SHOW]、ディレクトリモードならば [DIRECTORY] の各ボタンをクリックします（📖**3-59**）。

■本機のメニューから開始する

1．本機の電源を入れてください。
2．詳細メニューを表示させ（📖**2-2, 3**）、「MIU」メニュー（📖**2-34**）の「PC レス プレゼンテーション」（📖**2-36**）から、ご利用になる表示モードに合わせ、「サムネイル」、または「スライドショー」、「ディレクトリ」を選択します。

■付属のリモコンの MY BUTTON（マイボタン）に登録して操作する

1．本機の電源を入れて詳細メニューを表示させ、「その他」メニューから (📖**2-21**)「マイボタン」（📖**2-23**）を選択します。
2．PC レス プレゼンテーションの開始を割り当てる MY BUTTON 1 または 2 を◀ / ▶ボタンで選択し、▲ / ▼ボタンで、ご利用になる表示モードに合わせて「サムネイル」、または「スライドショー」、「ディレクトリ」を選択します。

PC レス プレゼンテーションを開始するには、操作を割り当てた MY BUTTON 1 または 2 を押します。

お知らせ

● PC レス プレゼンテーションを開始すると、自動的に本機の入力信号は MIU に切り替わります。
●全画面モードは、直接 WEB リモコン、本機のメニュー、MY BUTTON から開始することはできません。サムネイルモードかディレクトリモードで目的の画像を選択し、開始してください。

⚠ 注意

●アクセス中の記録メディアには触れない

記録メディアは、アクセス中に抜き取らないでください。メディア上の LED が点灯／点滅していないことも確認してください。

お守りください

● SD メモリカードや USB メモリを抜き取る前に、本機の電源を切るか、または本機の「MIU」メニューの「PC レスプレゼンテーション」－「メディア取外し」(📖**2-36**）から目的のメディアに合ったメディアの取り外しを実行してください。
●本機能で使用する画像ファイルは、個人的な目的でのみご使用ください。
●ご使用になるメディアに保存されたデータは、必ずバックアップをおとりください。本機使用中にデータが破損、消失しても、いかなる理由においても保障しません。
● USB メモリ以外の機器を AUX/IO 端子に接続しないでください。本機および接続した機器の故障の原因となることがあります。

使用可能な記録メディアとファイル形式

■使用可能な記録メディアの種類

・SD メモリカード　：最大 2GB まで。
・USB メモリ（USB フラッシュメモリ、USB ハードディスク、USB メモリカードリーダ）

■対応する記録メディアのフォーマット

・FAT12 ／ FAT16(FAT) ／ FAT32

■表示できるファイル形式

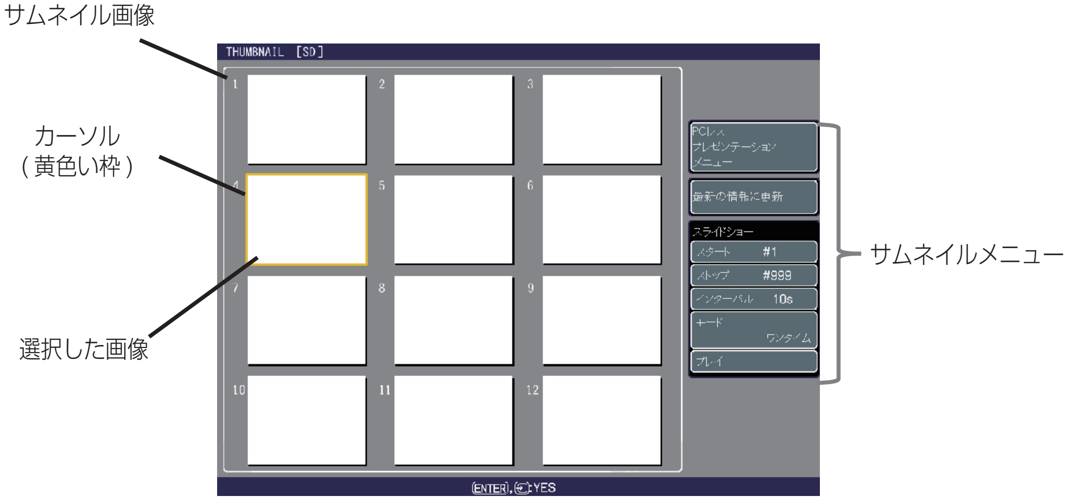
・JPEG(.jpeg, .jpg) ：プログレッシブエンコード JPEG は除きます。
・BMP(.bmp) ：16bit、および圧縮形式の BMP は除きます。
・PNG(.png) ：インターレース PNG は除きます。
・MPEG4(.mp4) ：ビット解像度 1Mbps 以下の Simple Profile に対応しています。
解像度は VGA まで、オーディオ形式は AAC にのみ対応しています。

お知らせ

●複数のドライブとして認識される USB メモリ、および USB ハブには対応していません。
●セキュリティ機能付き USB メモリには対応していません。
● USB ハードディスクに AC アダプタが接続できる場合は AC アダプタを接続して使用してください。
● SD メモリカードとワイヤレスネットワークカードを同時に使用する（本機に挿入する）ことはできません。
● SDHC メモリカードには対応していません。
● SD メモリカード、USB メモリの種類によっては、正常に動作しないものがあります。
● NTFS フォーマットのメディアには対応していません。
● PC レス プレゼンテーションに使用するファイル名とディレクトリ名は、以下のように制限されます。
(1) 本機の言語設定（「スクリーン」メニュー (📖2-18）の「表示言語」が日本語に設定されている場合半角英数字および日本語のかな、カナ、漢字以外は使用できません。
(2) 本機の言語設定（「スクリーン」メニューの「表示言語」が日本語以外に設定されている場合半角英数字およびラテン系アルファベット（Latin-1 コード：アルファベットと西ヨーロッパの特殊文字）以外は使用できません。

5.2 サムネイルモード

サムネイルモードを選択すると、サムネイル画面が表示されます。
サムネイル画面には、記録メディアに保存された画像ファイルのサムネイルと、その右側にサムネイルメニューが表示されます。また、サムネイル画面からは、全画面モード、およびスライドショーモードに移ることができます。



サムネイル画面

MIU 編

サムネイルモードの操作

サムネイルモードは、本機の操作パネル、付属のリモコン、WEB リモコンの各ボタンで以下の操作ができます。

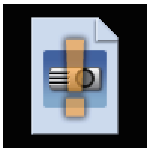
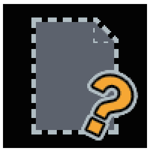
操作ボタン			操作内容
操作パネル	付属のリモコン	WEB リモコン	
▲／▼／◀／▶	▲／▼／◀／▶	[UP] ／ [DOWN] ／ [LEFT] ／ [RIGHT]	カーソルを移動します。
▶	▶	[RIGHT]	サムネイルメニューの項目を実行／操作します。
–	PAGE UP PAGE DOWN	[PAGE UP] ／ [PAGE DOWN]	ページを切り替えます。
INPUT	ENTER	[ENTER]	選択した画像を全画面モードで表示します。
–	MENU	[MENU]	「PC レス プレゼンテーション」メニュー（📖**2-36**）を表示します。

お知らせ

●上記の操作は、本機のメニュー表示中は実行できません。
● PC レスプレゼンテーション中に入力信号を切り替える場合は、一旦本機のメニューを表示させてください。

サムネイル画像

サムネイル画像は、サムネイル画面 1 ページにつき最大で 12 ファイル表示されます。13 個目以降のファイルは、2 ページ目以降に表示されます。
サムネイル画面に表示される画像ファイルは、メディアの中の、1 つのディレクトリ内にあるファイルのみです。サムネイルモードで PC レス プレゼンテーションを開始した場合は、メディアのルートディレクトリにあるファイルのみが表示されます。ルートディレクトリの中の、他のディレクトリ内のファイルをサムネイル表示したい場合は、ディレクトリモード（📖**3-77**）で目的のディレクトリを開いてから、サムネイルモードを選択してください。
ファイルに問題があり、画像が読み込めないなどの問題が発生した場合、サムネイルの代わりに以下のエラーアイコンが表示されます。

	ファイルが破損しているか、対応していない形式が使われています。
	ファイルはプレイリスト（📖**3-80**）の一覧にありますが、実際のファイルは存在しないか、見つかりません。

サムネイルメニュー

カーソルがサムネイル画像の右の列にあるときに、さらに▶ボタンを押すと、サムネイルメニューにカーソル (黄色の反転表示) を移動することができます。目的の項目にカーソルを移動し、▶ボタンを押すか、[RIGHT] ボタンをクリックすると、選択された項目を実行または操作することができます。

(1) PC レスプレゼンテーションメニュー
PC レスプレゼンテーションメニュー（「MIU」メニュー（📖**2-34**）－「PC レス プレゼンテーション」（📖**2-36**））を開きます。

(2) 最新の情報に更新
この項目を選択して▶ボタンを押すか。[RIGHT] ボタンをクリックする) と、更新操作の確認メッセージが表示されます。そのまま更新を実行すると、プレイリスト（📖**3-80**）が初期化されるため、サムネイル画面が更新されてスライドショーの設定（📖**3-76**）、画像の回転（📖**3-73**）等の設定が元の状態に戻ります。更新を実行するには、ENTER または INPUT ボタンを押す、もしくはクリックします。

(3) スライドショー
スライドショーの開始、および表示順序、表示間隔などを設定します。詳細は「5.4 スライドショーモード」（📖**3-75**）をご参照ください。



お知らせ

●本機の簡単メニュー、あるいは詳細メニューを表示中は、サムネイルメニューは操作できません。

5.3 全画面モード

全画面モードは、本機の画面全体に 1 つの画像を表示します。
サムネイルモード、またはディレクトリモードでファイルを選択し、ENTER ボタンまたは INPUT ボタンを押すか、WEB リモコンの [ENTER] をクリックすると全画面モードとなり、フルスクリーンサイズで画像を表示できます。



フルスクリーン表示

全画面表示

MIU 編

全画面モードの操作

全画面モードのときは、本機の操作パネル、付属のリモコン、WEB リモコンの各ボタンで以下の操作ができます。

操作ボタン			操作内容
操作パネル	付属のリモコン	WEB リモコン	
▲／▼ または ◀／▶	▲／▼ または ◀／▶	[UP] ／ [DOWN] または [LEFT] ／ [RIGHT]	右回り／左回りで 90 度画像を回転します。
			前／後の画像を表示します。
INPUT	ENTER	[ENTER]	サムネイルモード、またはディレクトリモードに戻ります。
–	MENU	[MENU]	「PC レス プレゼンテーション」メニュー（📖**3-74**）を表示します。

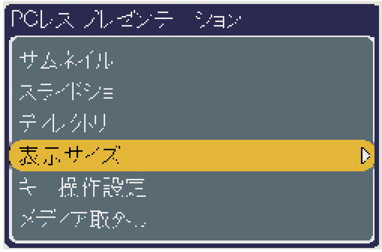
お知らせ

●▲／▼または◀／▶、[UP] ／「DOWN」または [LEFT] ／ [RIGHT] ボタンでの画像の回転と送り操作は、「キー操作設定」（📖**3-74**）で選択してください。
●画像を回転させると、プレイリスト（📖**3-80**）に画像の回転状態が記録され、表示モードを変更しても回転したままになります。画像を元に戻すには、画像を 360 度回転させるか、プレイリストを消去してください。
●上記の操作は、本機のメニュー表示中は実行できません。
● PC レスプレゼンテーション中に入力信号を切り替える場合は、一旦本機のメニューを表示させてください。
● MP4 ファイルの開始と終了部分の画像は、適切に表示されない場合があります。

「PC レス プレゼンテーション」メニューでの設定

「PC レス プレゼンテーション」メニューからは、静止画像の表示サイズ、画像の回転と送りのキー操作設定（▲／▼または◀／▶、[UP] ／「DOWN」または [LEFT] ／ [RIGHT] ボタンでの操作設定）を変更することができます。

■静止画像の表示サイズを変更する



1．MENU ボタンを押すか [MENU] ボタンをクリックし、「PC レス プレゼンテーション」メニューを表示させます。
2．▲／▼、または [UP] ／ [DOWN] ボタンで「表示サイズ」を選択し、▶ボタンを押すか [RIGHT] ボタンをクリックします。
3．▲／▼、または [UP] ／ [DOWN] ボタンでお好みの画像の表示サイズを選択し、▶または [RIGHT] ボタンで決定します。

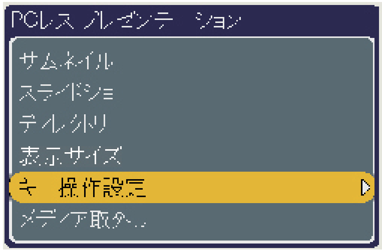


「リアル」: 実際 (オリジナル) の画像サイズで表示します。画像のサイズが XGA より小さい場合、画面中央に画像を表示します。画像のサイズが XGA より大きい場合は、画像の中央部分のみを表示します

「ノーマル」: 画像のオリジナルのアスペクト比を維持しながら、可能な限りの最大サイズで画像全体を表示します。

「フル」: フルスクリーンサイズで画像を表示します。画像のアスペクトは､スクリーンのアスペクト（4:3）に変わります。

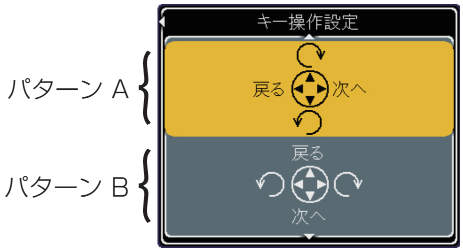
■キー操作設定を変更する



1．MENU ボタンを押すか [MENU] ボタンをクリックし、「PC レス プレゼンテーション」メニューを表示させます。
2．▲／▼、または [UP] ／ [DOWN] ボタンで「キー操作設定」を選択し、▶ボタンを押すか [RIGHT] ボタンをクリックします。
3．▲／▼、または [UP] ／ [DOWN] ボタンで、使用したいキー設定を選択し、▶または [RIGHT] ボタンで決定します。

パターン A : ◀、[LEFT] : 前の画像
▶、[RIGHT] : 次の画像
▲、[UP] : 右回転
▼、[DOWN] : 左回転

パターン B : ◀、[LEFT] : 左回転
▶、[RIGHT] : 右回転
▲、[UP] : 前の画像
▼、[DOWN] : 次の画像

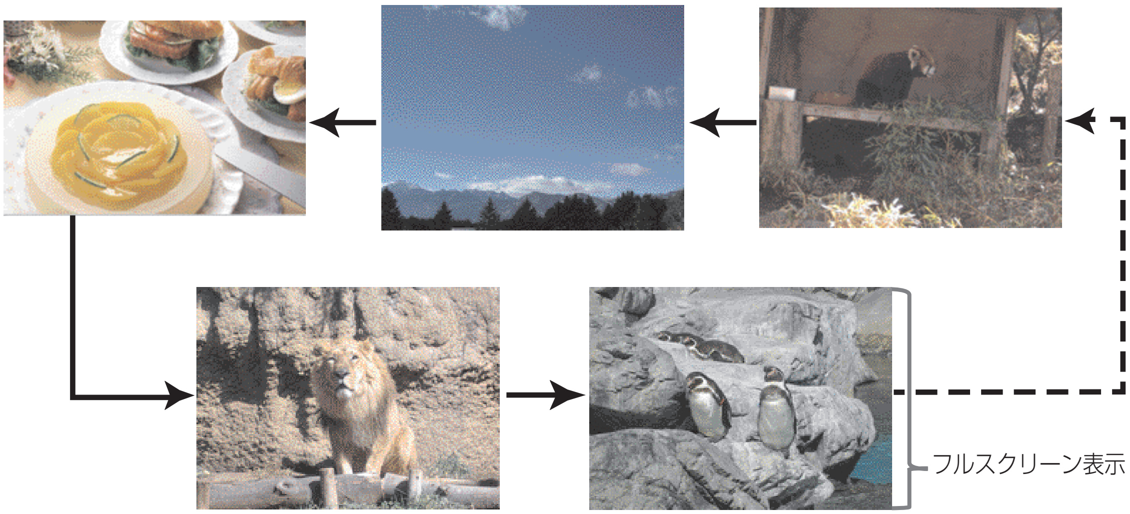


お知らせ

●動画の表示サイズは変更できません。
動画ファイルの解像度が VGA より高い場合は、VGA サイズで再生されます。動画ファイルの解像度が VGA より低い場合は、画面中央で再生されます。

5.4 スライドショーモード

スライドショーモードは、１つのディレクトリ内にある画像を、間隔を置いてスクリーン全体に順番に表示します。
スライドショーモードは、WEB リモコン、または本機のメニュー、付属のリモコンの MY BUTTON 以外にも、サムネイル画面のサムネイルメニュー（📖**3-72**）から開始することができます。各画像の表示時間はプレイリスト（📖**3-80**）またはメニューを使って設定できます。



スライドショーモード

スライドショーモードの操作

スライドショーモードのときは、本機の操作パネル、付属のリモコン、WEB リモコンの各ボタンで以下の操作ができます。

操作ボタン			操作内容
操作パネル	付属のリモコン	WEB リモコン	
INPUT	ENTER	[ENTER]	サムネイルモードに切り替えます。
−	MENU	[MENU]	「PC レス プレゼンテーション」メニュー（📖**2-36**）を表示します。

お知らせ

●上記の操作は、本機のメニュー表示中は実行できません。
● PC レスプレゼンテーション中に入力信号を切り替える場合は、一旦本機のメニューを表示させてください。
●スライドショーモードでは、プレイリスト（📖**3-80**）に記録されている画像が表示されます。ディレクトリにプレイリストがない場合は、プレイリストを作成し、表示できる画像を自動的にプレイリストに登録します。
●画像がプレイリストに記載されていない場合、サムネイルモード、スライドショーモードでは表示されません。

サムネイルメニューでの設定

サムネイル画面のサムネイルメニュー(📖**3-71**)からスライドショーの再生オプションを設定できます。

(1) スタート #
　スライドショーを開始する画像番号を設定します。画像番号は、各サムネイル画像の左上に表示されています。

(2) ストップ #
　スライドショーを終了する画像番号を設定します。

(3) インターバル
　スライドショーでの、画像 1 枚あたりの表示時間を設定します。

(4) モード
　スライドショーの再生モードを選択します。次の 2 種類があります。
　ワンタイム：スライドショーを 1 回再生します。
　エンドレス：スライドショーの最後の画像を表示すると再び最初に戻ることを繰り返し続けます。

(5) プレイ
　スライドショーを開始します。

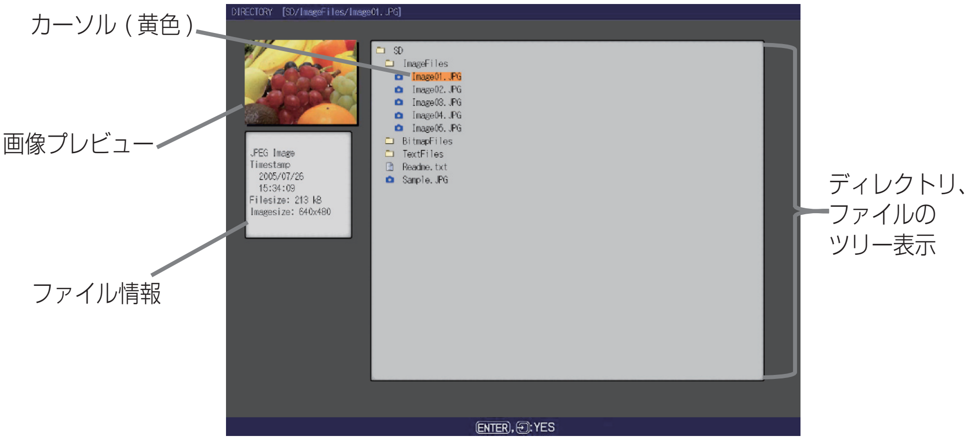


お知らせ

●本機の簡単メニュー、あるいは詳細メニューを表示中は、サムネイルメニューは操作できません。
●動画の場合はインターバルの設定に関わらず、動画の長さだけ再生します。
●また、画像の保存されているディレクトリの階層が深い、画像ファイルが多い等の場合は設定した時間より数秒長くかかる場合があります。
●サムネイルメニューでの設定は、プレイリスト（📖**3-80**）の設定より優先されます。
●優先順位をリセットするには、“slidemode.txt”ファイルをディレクトリから削除します。
●「モード」を「ワンタイム」に設定すると、ENTER または INPUT ボタンを押すか [ENTER] ボタンをクリックしない限り、スライドショーの最後の画像が表示され続けます。

5.5 ディレクトリモード

ディレクトリモードは、記録メディアに保存されているディレクトリとファイルの一覧を、ツリー表示します。
ディレクトリ表示の画面左上には、選択されている画像ファイルのプレビューが表示されます。
選択されているのが動画ファイルの場合、動画の最初の画像がプレビューで表示されます。ディレクトリや表示不可能なファイルのプレビューは表示されません。
プレビューの下には、選択されているディレクトリやファイルの情報が表示されます。



ディレクトリモード

ディレクトリモードの操作

ディレクトリモードでは、本機の操作パネル、付属のリモコン、WEB リモコンの各ボタンで以下の操作ができます。

操作ボタン			操作内容
操作パネル	付属のリモコン	WEB リモコン	
▲／▼	▲／▼	[UP] ／ [DOWN]	カーソルを移動します。
◀	◀	[LEFT]	閉じているディレクトリを開きます。
▶	▶	[RIGHT]	開いているディレクトリを閉じます。
–	PAGE UP PAGE DOWN	[PAGE UP] ／ [PAGE DOWN]	ディレクトリ表示が 1 画面に収まらない場合に、ページを切り替えます。
INPUT	ENTER	[ENTER]	表示可能なファイルの場合、全画面モードで表示します。ディレクトリの場合、サムネイルモードで表示します。
–	MENU	[MENU]	本機のメニューを表示します。

お知らせ

●上記の操作は、本機のメニュー表示中は実行できません。
● PC レスプレゼンテーション中に入力信号を切り替える場合は、一旦本機のメニューを表示させてください。
●表示不可能なファイルは、ENTER ／ INPUT ／ [ENTER] ボタンでの操作は実行できません。
●表示できるディレクトリの階層は、メディアのルートディレクトリを含め 10 階層までです（例えば SD メモリカードの中のディレクトリは 9 階層まで）。
●ファイルやディレクトリの数が多すぎる場合、一部のファイルまたはディレクトリは表示されません。この場合、記録メディアから必要のないファイル、ディレクトリを削除してください。

ファイル情報

ファイル情報として表示されるのは以下の内容です。

■表示可能な画像ファイルの場合

- File format（ファイル形式：JPEG、PNG 、BMP）
- Time stamp（ファイルの作成日）
- File size（ファイルのサイズ）
- Image size（ファイルの解像度）

■表示可能な動画ファイルの場合

- File format（ファイル形式：MP4）
- Time stamp（ファイルの作成日）
- File size（ファイルのサイズ）
- Movie size（ファイルの解像度）
- Movie time（再生時間）

■表示不可能なファイルの場合

- File format（ファイル形式）
- Time stamp（ファイルの作成日）
- File size（ファイルのサイズ）

■ディレクトリの場合

- File format（Directory）
- Time stamp（ディレクトリの作成日）

5.6 PC レス プレゼンテーションエラー

PC レス プレゼンテーション中、画面下部の灰色の部分にエラーメッセージが表示される場合があります。



PC レス プレゼンテーションのエラーメッセージ

表示されるエラーメッセージは、下表の通りです。

エラーメッセージ	エラー内容	表示モード
File not found	表示可能なファイルがありません。	全画面モード、スライドショーモード
Illegal Playlist file	プレイリストファイルに問題があります。 (ファイルサイズが 64KB を超えている、ファイル内の 1 行が 1022 文字を超えている、改行コードが異常など)	全画面モード、スライドショーモード

5.7 プレイリスト

プレイリストとはサムネイルやスライドショーモードで表示される画像ファイルと、それらの表示される順番などを決める DOS 形式のテキストファイルです。
プレイリストのファイル名は“imagelistdir.txt”です。PC レス プレゼンテーションで、プレイリストファイルが存在しないディレクトリを表示すると、そのディレクトリ用のプレイリストファイルが新しく自動で作成されます。作成される場所は表示しているディレクトリの中です。
プレイリストファイルは PC 上で編集することができます。
プレイリストは 1 ファイルにつき 1 行で記述します。リストの記述の順番、内容は、以下の通りです。

パス名 / パス名 / ・・・・/ ファイル名 , 表示時間 , 回転情報

■パス名 / パス名 / ・・・・

画像ファイルの、記録メディア内のパスです。

■ファイル名

画像ファイルのファイル名です

■表示時間

スライドショーの表示時間です。
0 ～ 999900（ms）範囲で記述できますが、実際のスライドショーでは 100ms 単位に丸められます。

■回転情報

画像の回転情報です。右回り、90 度単位で記述します。
rot1 が 90 度回転、rot2 は 180 度回転、rot3 は 270 度回転です。回転なしの場合は記述なしか、rot0 を指定します。

表示時間、回転情報は、それぞれカンマ“,”で区切って記述してください。画像を非表示にしたい場合は、そのファイルが記載されている行を削除してください。画像ファイルをメディアに追加して表示したい場合は、ファイル名と保存先のパス名をプレイリストに追加してください。

プレイリストの記述例：

```
images/photo1/img001.jpg
images/photo1/img002.jpg, 2000
images/photo1/img003.jpg, 500, rot1
images/photo1/img004.jpg
images/photo1/img005.jpg, 500, rot2
```

お知らせ

●プレイリストは一度作成されたら自動で上書きされません。プレイリストを作成した後で画像を追加保存しても、その画像は表示されません。それを表示させたい場合は保存されていたプレイリストを削除して新しくプレイリストを作り直すか、手動でプレイリストにファイルを追加してください。
●プレイリストの 1 行に書ける文字数は、1022 文字まで（改行コードを含めて 1024 文字まで）です。これを超えるとプレイリストとして無効になり、プレイリストのエラーで表示できなくなります。
●プレイリストの最大サイズは 64kB までです。これを超えると無効になります。
●プレイリストに登録可能な画像ファイル数は最大で 999 です。999 を超える場合は、先頭から 999 個のファイルを利用します。

6. 故障かな？と思ったら

問 題		考えられる原因	確認事項	参照頁
画像が表示されない		本機の電源が入っていない	本機のランプが点灯していますか？	1-25
		本機が MIU の映像信号を選択していない	本機が MIU の信号を選択していますか？	1-29
無線 LAN	通信できない	ワイヤレスネットワークカードが本機に差し込まれていない、または SD メモリカードが差し込まれている	オプションのワイヤレスネットワークカードを SD カードスロットに差し込んでください。	1-19
		他のプロジェクターや、その他の無線 LAN 機器が近くにある	SSID と IP アドレスを変更してみてください。	3-12,13 2-37,39
有線 LAN	通信できない	PC および（または）本機のネットワーク設定が正しくない	PC と本機の両方のネットワーク設定を確認してください。	3-8～10
		ワイヤレスネットワークカードが本機に差し込まれている	本機からワイヤレスネットワークカードを抜き取り、本機の電源および電源スイッチを切って再度入れ直してください。有線 / 無線 LAN の両方を同時に使用できません。	1-19
ライブモード	接続したいプロジェクターがプロジェクターのリストにない	PC および（または）本機のネットワーク設定が正しくない	PC と本機の両方のネットワーク設定を確認してください。本機の設定を変更した場合は、Web ブラウザの "Network Restart" か、本機の「MIU」メニューの「特別な設定」から「MIU リスタート」を実行するか、または本機の電源スイッチを切って再度入れ直してください。本機をスタンバイ状態にした後に電源を入れ直しただけでは、新しい設定は有効にならないことがあります。	3-45 3-60 2-42
		無線信号が弱い	・PC と本機を近づけてください。 ・無線波はコンクリートや金属（スチール・ドアなど）を通過しません。	—
	通信できない	本機がライブモードに設定されていない	「MIU」メニューを確認し、ライブモードに設定されていることを確認してください。	2-34
		Windows2000、Windows XP / XP Service Pack1 / XP Service Pack1a で、WPA-PSK、WPA2-PSK を使用している	Windows2000、Windows XP / XP Service Pack1 / XP Service Pack1a をご使用の場合、WPA-PSK、WPA2-PSK は正しく動作しません。ご使用の PC、または無線 LAN アダプタに設定用ユーティリティがある場合は、そちらをご使用ください。設定方法に関しては、PC、またはアダプタのマニュアルをご参照ください。Windows XP / XP Service Pack1 / XP Service Pack1a をお使いの場合は、Service Pack2 以降にアップグレードすると、WPA-PSK、WPA2-PSK をお使いいただけます。	—
		無線 LAN の設定が正しくない、または暗号設定されている	ご使用の PC、または無線 LAN アダプタに設定用ユーティリティがある場合は、そちらの設定を確認してください。設定方法に関しては、PC、またはアダプタのマニュアルをご参照ください。	

問　題		考えられる原因	確認事項	参照頁
ライブモード（つづき）	通信できない（つづき）	“Live Viewer 3” でのネットワーク設定が正しくない	“Live Viewer 3” で、ご使用の PC、または無線 LAN アダプタに関するネットワーク設定を確認してください。	—
	本機の投影画像の動きが PC 画像の動きよりも遅い	画像転送に使用している圧縮率が低すぎる	“Live Viewer 3” の “画像転送モード” を “スピード優先” に設定してみてください。画質が低下しますが、速度を上げるのに役立つことがあります。	📖3-41
	画像が表示されない	Windows フォトギャラリーのスライドショーを使用している	Live Viewer 3 では、Windows フォトギャラリーのスライドショーデータを転送できません。ライブモードご利用の前に、Windows フォトギャラリーのスライドショーを終了してください。	—
	動画を正しく表示できない	ご使用のビデオカードとメディア再生アプリケーションの組み合わせによっては、映像を本機に正しく転送できない場合があります	ご使用のメディア再生アプリケーションに、ビデオアクセラレーションのレベル調節がある場合は、それを調節してみてください。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご参照ください。	—
	解像度を変えたら本機との接続を切断された	ライブモードで画像表示中に PC 画面の解像度を変更すると、接続が切断される場合があります	キャプチャ開始ボタンを使用して再接続してください。ライブモードを開始する前に、あらかじめ使用する解像度に変更しておくことをおすすめします。	📖3-38
	画像ノイズが多い	画像転送に使用している圧縮率が高すぎる	“Live Viewer 3” の “画像転送モード” を “画質優先” 側に設定してみてください。速度が遅くなることがあります。	📖3-41
	2 つのカーソルが表示される。	PC と本機の両方のカーソルが同時に表示されている	“Live Viewer 3” の “カーソルエミュレーション” をオフにしてください。	📖3-41
	カーソルが表示されない	一部の PC では、“カーソルエミュレーション” を行わないとカーソルが表示されない場合があります	“Live Viewer 3” の “カーソルエミュレーション” をオンにしてください。	📖3-41
	透明効果 (Aero グラス) 表示されない	Live Viewer 3 では、Windows Vista Aero の効果に対応していません	—	—
PC レス	サムネイルモードまたはディレクトリモードに切り替えても、メディアの中身が表示されない	記録メディアを挿入した後、メディアの情報が更新されていない	サムネイルモードまたはディレクトリモードを再選択するか、「PC レス プレゼンテーション」メニューを再表示させてください。	📖3-71 📖3-77
その他	- 本機から PC に正しい（または完全な）情報が送信されない - 本機が応答しない - スクリーン上の画像が、PC の画像が変わってしばらくしても変わらない	本機と PC 間の通信が正常に作動していない 本機の MIU 機能が正常に作動していない	「MIU」メニューで「特別な設定」の「MIU リスタート」を実行してみてください。	📖2-42

7. MIU 仕様

項　目	仕　様
製品名	液晶プロジェクター
ファイル形式	JPEG、PNG、BMP、MPEG4
制御ソフトウェア	専用の PC アプリケーションおよび Web ブラウザ
対応プロトコル	TCP/IP、DHCP クライアント、HTTP サーバー
ネットワーク	無線 LAN：IEEE802.11b/g （AD-HOC モード、および INFRASTRUCTURE モード） 有線 LAN（イーサネット）：10Base-T、100Basa-TX
セキュリティ	WEP(64/128bit)、WPA-PSK/PSK2(TKIP/AES)、SSID
PC アプリケーションの動作環境	OS：Windows 2000 Professional (Service Pack4) Windows XP Home Edition Windows XP Professional Windows Vista Home Basic (32bit) Windows Vista Home Premium (32bit) Windows Vista Business (32bit) Windows Vista Enterprise (32bit) Windows Vista Ultimate (32bit) CPU：Pentium III 600MHz 以上（推奨） メモリサイズ：64M バイト以上 128M バイト以上（XP の場合） グラフィック I/F：DirectX 6.1 以上 ビデオ RAM：4MB 必要（8MB 推奨） HDD：20MB CD-ROM ドライブ Web ブラウザ：Internet Explorer 5.5 またはそれ以降のバージョン
SD カード	SD カード（カードによっては対応していない場合があります。）
ワイヤレスネットワークカード	C-guys SD-Link11g
USB	USB1.0 ホスト：Mass Storage Class SBC/BOT タイプ 以下の USB メモリの読み出し / 書き込みが可能： - USB フラッシュメモリ - USB カードリーダ - USB ハードディスク （それぞれカード・アダプタによって対応していない場合があります。）